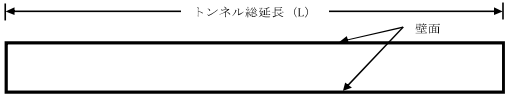
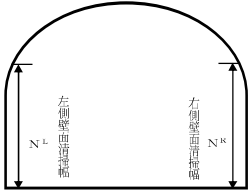


改正理由	一部改正	改正 現行	備 考		
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>6. トンネル清掃車運転時間 作業に必要な運転時間は、次式による。</p> $T1 = \left(\frac{N}{V1} + \frac{n}{V2} + \alpha N \right) L + \frac{\varrho}{v}$ <p>T1 : 作業に必要な運転時間 (給水、移動、アイドリング等の全時間を含む) (h) L : トンネル総延長 (km) N : 清掃回数 (回) n : 洗浄回数 (回) V1 : 清掃速度 (km/h) V2 : 洗浄速度 (km/h) α : 清掃1km当り必要水量の給水時間 (h/km) ϑ : 移動距離 (km) v : 移動速度 (km/h)</p> <p>トンネル平面図</p>  <p>トンネル断面図</p>  <p>(1) トンネル総延長 (L) 清掃を実施するトンネルの総延長をいう。</p> <p>(2) 清掃回数 (N) 清掃回数は、次式による。 $N = N^L + N^K$ $N^L = \text{左側清掃壁面幅 (m)} \div (\text{ブラシ幅} - 0.1)$ (小数点第1位切り上げ) $N^K = \text{右側清掃壁面幅 (m)} \div (\text{ブラシ幅} - 0.1)$ (" ")</p> <p>(3) 洗浄回数 (n) 洗浄が必要な場合の洗浄回数は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表6.1 洗浄回数(n) (回)</caption> <tr> <td>洗浄回数 (両壁面分)</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上記回数以上に特に洗浄が必要な場合は、別途考慮する。 2. 上記回数は、トンネル清掃車により洗浄を行う場合の回数であり、洗浄装置付散水車等で清掃と同時に洗浄を行う場合は回数に含めない。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-⑪-2</p>	洗浄回数 (両壁面分)	2	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p> $N^L = \text{左側壁面清掃幅 (m)} \div (\text{ブラシ幅} - 0.1)$ (小数点第1位切り上げ) $N^K = \text{右側壁面清掃幅 (m)} \div (\text{ブラシ幅} - 0.1)$ (" ")</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
洗浄回数 (両壁面分)	2				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4		

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																		
	<p>現 行</p> <p>(4) 清掃速度 (V₁) 清掃速度は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <caption>表6.2 清掃速度(V₁) (km/h)</caption> <tr> <td>清掃速度</td> <td>1.1</td> </tr> </table> <p>(5) 洗浄速度 (V₂) 洗浄速度は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <caption>表6.3 洗浄速度(V₂) (km/h)</caption> <tr> <td>洗浄速度</td> <td>3.3</td> </tr> </table> <p>(6) 清掃1km当り給水時間 (a) 清掃1km当りの給水に要する時間は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <caption>表6.4 清掃1km当り給水時間(a) (h/km)</caption> <tr> <td>清掃1km当り給水時間</td> <td>0.3</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上記時間には、洗浄及び清掃に要する給水時間を含む。 2. 給水時間には、給水の準備時間を含む。 3. 清掃1km当りの使用水量 (q) は、3.0m³とする。</p> <p>(7) 移動距離 (l) 移動距離は、次の区間の全走行距離をいう。 1) 現場と給水場所の間 2) 現場と現場の間 3) 基地と現場の間</p> <p>(8) 移動速度 (v) 移動速度は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <caption>表6.5 移動速度(v) (km/h)</caption> <tr> <td>移動速度</td> <td>30</td> </tr> </table> <p>7. ブラシの損耗 ブラシの損耗度は、次表を標準とする。</p> <table border="1"> <caption>表7.1 ブラシの損耗度</caption> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>ブラシ径 (mm)</th> <th>材 質</th> <th>清掃延長当り使用個数(個/km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回転ブラシ式</td> <td>800</td> <td>ポリプロピレン</td> <td>0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ブラシ単価=ブラシ購入価格+ブラシ交換労務費 ブラシ交換労務費は、ブラシ1個に対し普通作業員0.2人を計上する。 2. 清掃延長 (L₁) は、トンネル総延長 (L) と清掃回数 (N) の積である。</p> <p>8. 諸 雑 費 諸雑費は、ブラシ、バケツ、洗剤等の費用であり、労務費、トンネル清掃車の機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table border="1"> <caption>表8.1 諸雑費率 (%)</caption> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>4</td> </tr> </table>	清掃速度	1.1	洗浄速度	3.3	清掃1km当り給水時間	0.3	移動速度	30	機 種	ブラシ径 (mm)	材 質	清掃延長当り使用個数(個/km)	回転ブラシ式	800	ポリプロピレン	0.02	諸雑費率	4	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>(注) 1. ブラシ損耗費=ブラシ購入価格+ブラシ交換労務費 ブラシ交換労務費は、ブラシ1個に対し普通作業員0.2人を計上する。 2. 清掃延長 (L₁) =トンネル総延長 (L) ×清掃回数 (N) の積である。</p>	<p>備 考</p> <p>記載の変更</p>
清掃速度	1.1																				
洗浄速度	3.3																				
清掃1km当り給水時間	0.3																				
移動速度	30																				
機 種	ブラシ径 (mm)	材 質	清掃延長当り使用個数(個/km)																		
回転ブラシ式	800	ポリプロピレン	0.02																		
諸雑費率	4																				
積算上の注意事項	IV-3-⑩-3		(控え頁) 2/4																		

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																																																											
現 行		改 正																																																																																																												
<p>9. 単 価 表</p> <p>(1) 清掃延長1km当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB433810</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$1.0 \times T_1 / T \times L / L_1$</td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$1.0 \times T_1 / T \times L / L_1$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$2.0 \times T_1 / T \times L / L_1$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>トンネル清掃車運転</td> <td></td> <td>h</td> <td>T_1 / L_1</td> <td>単価表(2) 機械燃料</td> </tr> <tr> <td>散水車運転</td> <td></td> <td>"</td> <td>T_1 / L_1</td> <td>必要に応じて計上 機械燃料</td> </tr> <tr> <td>ブラシ</td> <td></td> <td>個</td> <td>0.02</td> <td>表7.1 単価表(3)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(注) T : トンネル清掃車の運転日当り運転時間 (5.8h/日とする) T_1 : 作業に必要な運転時間 (給水、移動、アイドリング等の全時間を含む) (h) L₁ (清掃延長) : トンネル総延長 (L) × 清掃回数 (N)</p> <p>(2) トンネル清掃車 (2本ブラシ式) 運転時間当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>運転手 (一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>第1編第6章②原動機燃料消費量による。</td> </tr> <tr> <td>トンネル清掃車</td> <td>2本ブラシ式</td> <td>h</td> <td>1</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(注) T : トンネル清掃車の運転日当り運転時間 5.8h/日</p> <p>(3) ブラシ 1個当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB433811</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>ブラシ</td> <td></td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>散 水 車</td> <td>全 機 種</td> <td>機-6</td> <td>散水車使用のとき計上</td> </tr> </table>		施工歩掛コード	WB433810	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	$1.0 \times T_1 / T \times L / L_1$	表5.1	特殊作業員		"	$1.0 \times T_1 / T \times L / L_1$	"	普通作業員		"	$2.0 \times T_1 / T \times L / L_1$	"	トンネル清掃車運転		h	T_1 / L_1	単価表(2) 機械燃料	散水車運転		"	T_1 / L_1	必要に応じて計上 機械燃料	ブラシ		個	0.02	表7.1 単価表(3)	諸 雑 費		式	1	表8.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	運転手 (一般)		人	1/T		燃料費		ℓ		第1編第6章②原動機燃料消費量による。	トンネル清掃車	2本ブラシ式	h	1	表3.1	諸 雑 費		式	1		計					施工歩掛コード	WB433811	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブラシ		個	1		普通作業員		人	0.2	表7.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	散 水 車	全 機 種	機-6	散水車使用のとき計上	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p> <p>→</p>	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
施工歩掛コード	WB433810																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																										
土木一般世話役		人	$1.0 \times T_1 / T \times L / L_1$	表5.1																																																																																																										
特殊作業員		"	$1.0 \times T_1 / T \times L / L_1$	"																																																																																																										
普通作業員		"	$2.0 \times T_1 / T \times L / L_1$	"																																																																																																										
トンネル清掃車運転		h	T_1 / L_1	単価表(2) 機械燃料																																																																																																										
散水車運転		"	T_1 / L_1	必要に応じて計上 機械燃料																																																																																																										
ブラシ		個	0.02	表7.1 単価表(3)																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表8.1																																																																																																										
計																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																										
運転手 (一般)		人	1/T																																																																																																											
燃料費		ℓ		第1編第6章②原動機燃料消費量による。																																																																																																										
トンネル清掃車	2本ブラシ式	h	1	表3.1																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																											
計																																																																																																														
施工歩掛コード	WB433811																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																										
ブラシ		個	1																																																																																																											
普通作業員		人	0.2	表7.1																																																																																																										
計																																																																																																														
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																											
散 水 車	全 機 種	機-6	散水車使用のとき計上																																																																																																											
IV-3-⑫-4																																																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行																																																		
現 行		改 正																																																		
<p>10. 施工単価入力基準表 (1) トンネル清掃作業</p> <table border="1"> <tr> <td>施工区号</td> <td>WB433810</td> <td>施工単位</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>作業に必要な km当り運転時間 (h/km)</td> <td>ブラシ材料 使用区分</td> <td>散 水 車 機 種</td> <td>散 水 車 機 種 機 種 入 力</td> <td>トンネル 清掃車機 機 種 使 用 区 分</td> <td>散 水 車 機 種 使 用 区 分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>T_1/L_1 (実数入力)</td> <td>①持込 ②支給</td> <td>(表10.1)</td> <td></td> <td>①持込 ②貸与</td> <td>①持込 ②貸与</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>J 7</td> </tr> <tr> <td>機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 t</td> </tr> <tr> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. L_1は、T_1を算定したとき使用したL (トンネル総延長) を使用し、次式で求めたものである。 $L_1 = \text{トンネル総延長 (L)} \times \text{ブラシ清掃回数 (N)}$ 2. J 3条件で①を選択した場合は、J 6条件は②で固定される。 3. J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件で当該機種コード番号 (K○○○○○○) を入力する。 4. J 3条件で③を選択した場合は、J 6条件の選択は必要ない。 5. 施工数量は (L₁) を入力すること。</p> <table border="1"> <caption>表10.1 散水車機種</caption> <tr> <td>機 種</td> <td>1,800ℓ</td> <td>5,500～6,500ℓ</td> <td>7,500～8,000ℓ</td> <td>6,500ℓ 耐塩式 (貸 与)</td> <td>各種</td> <td>散 水 車 機 種</td> </tr> <tr> <td>入力番号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> </table>		施工区号	WB433810	施工単位	km	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	作業に必要な km当り運転時間 (h/km)	ブラシ材料 使用区分	散 水 車 機 種	散 水 車 機 種 機 種 入 力	トンネル 清掃車機 機 種 使 用 区 分	散 水 車 機 種 使 用 区 分		T_1/L_1 (実数入力)	①持込 ②支給	(表10.1)		①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	J 7	機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 t	①標準 ②標準以外 (実数入力)	機 種	1,800ℓ	5,500～6,500ℓ	7,500～8,000ℓ	6,500ℓ 耐塩式 (貸 与)	各種	散 水 車 機 種	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	<p>現行どおり</p> <table border="1"> <tr> <td>J 7</td> </tr> <tr> <td>機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 (t)</td> </tr> <tr> <td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. L_1 (清掃延長) は、T_1を算定したとき使用したL (トンネル総延長) を使用し、次式で求めたものである。 $L_1 = \text{トンネル総延長 (L)} \times \text{ブラシ清掃回数 (N)}$</p> <p>現行どおり</p>		J 7	機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 (t)	①標準 ②標準以外 (実数入力)	備考
施工区号	WB433810	施工単位	km																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																			
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																														
	作業に必要な km当り運転時間 (h/km)	ブラシ材料 使用区分	散 水 車 機 種	散 水 車 機 種 機 種 入 力	トンネル 清掃車機 機 種 使 用 区 分	散 水 車 機 種 使 用 区 分																																														
	T_1/L_1 (実数入力)	①持込 ②支給	(表10.1)		①持込 ②貸与	①持込 ②貸与																																														
J 7																																																				
機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 t																																																				
①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																				
機 種	1,800ℓ	5,500～6,500ℓ	7,500～8,000ℓ	6,500ℓ 耐塩式 (貸 与)	各種	散 水 車 機 種																																														
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥																																														
J 7																																																				
機 械 供 用 日 当 り 運 転 時 間 (t)																																																				
①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 4/4																																																	

工 種	トンネル照明器具清掃工
-----	-------------

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																																																								
	<p>⑩ トンネル照明器具清掃工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、トンネル照明器具の清掃作業に適用する。</p> <p>2. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>類 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械施工 表面清掃</td> <td>トンネル清掃車</td> <td>回転ブラシ式 灯具清掃装置付</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人力施工 表面清掃</td> <td rowspan="2">高所作業車</td> <td rowspan="2">[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型]作業床高13.2m・積載荷重1,000kg</td> <td rowspan="2">#</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>表面及び内面清掃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 機械施工の表面清掃とは、機械による灯具表面のみの清掃をいう。 2. 人力施工の表面清掃とは、人力による灯具表面のみの清掃をいう。 3. 人力施工の表面及び内面清掃とは、人力による灯具表面と灯具カバーを開いて行うランプ及び反射板の清掃をいう。 4. 上表により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>3. 清掃作業歩掛 清掃作業歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機械施工清掃作業歩掛 (トンネル延長100m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>表面清掃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.01</td> </tr> <tr> <td>トンネル清掃車運転</td> <td>回転ブラシ式灯具清掃装置付</td> <td>h</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 諸雑費は、洗剤、ウエス等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 清掃用ブラシは、官側からの支給品とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 人力施工清掃作業歩掛 (照明灯100灯当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>表面清掃</th> <th>表面及び内面清掃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>1.4</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型]作業床高13.2m・積載荷重1,000kg</td> <td>h</td> <td>4.5</td> <td>9.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>0.7</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、洗剤、ウエス、ブラシ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	類 要	機械施工 表面清掃	トンネル清掃車	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	台	1		人力施工 表面清掃	高所作業車	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型]作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	#	1		表面及び内面清掃	名 称	規 格	単 位	表面清掃	土木一般世話役		人	0.02	特殊作業員		#	0.03	普通作業員		#	0.01	トンネル清掃車運転	回転ブラシ式灯具清掃装置付	h	0.2	諸 雑 費 率		%	8	名 称	規 格	単 位	表面清掃	表面及び内面清掃	土木一般世話役		人	0.4	0.5	普通作業員		#	1.4	2.4	高所作業車運転	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型]作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	h	4.5	9.1	諸 雑 費 率		%	0.7	1	<p>⑩ トンネル照明器具清掃工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、トンネル照明器具の高所作業車を用いた清掃作業に適用する。</p> <p>2. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>類 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械施工 表面清掃</td> <td>トンネル清掃車</td> <td>回転ブラシ式 灯具清掃装置付</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人力施工 表面清掃</td> <td rowspan="2">高所作業車</td> <td rowspan="2">[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型]作業床高9.9m・積載荷重1,000kg</td> <td rowspan="2">台</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>表面及び内面清掃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 機械施工の表面清掃とは、機械による灯具表面のみの清掃をいう。 1. 人力施工の表面清掃とは、人力による灯具表面のみの清掃をいう。 2. 人力施工の表面及び内面清掃とは、人力による灯具表面と灯具カバーを開いて行うランプ及び反射板の清掃をいう。 4. 上表により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>3. 清掃作業歩掛 清掃作業歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機械施工清掃作業歩掛 (トンネル延長100m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>表面清掃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.01</td> </tr> <tr> <td>トンネル清掃車運転</td> <td>回転ブラシ式灯具清掃装置付</td> <td>h</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 諸雑費は、洗剤、ウエス等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 清掃用ブラシは、官側からの支給品とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 人力施工清掃作業歩掛 (照明灯100灯当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>表面清掃</th> <th>表面及び内面清掃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>1.4</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型]作業床高9.9m・積載荷重1,000kg</td> <td>h</td> <td>1.1</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 諸雑費は、洗剤、ウエス、ブラシ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 高所作業車は、賃料とする。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	類 要	機械施工 表面清掃	トンネル清掃車	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	台	1		人力施工 表面清掃	高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型]作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	台	1		表面及び内面清掃	名 称	規 格	単 位	表面清掃	土木一般世話役		人	0.02	特殊作業員		#	0.03	普通作業員		#	0.01	トンネル清掃車運転	回転ブラシ式灯具清掃装置付	h	0.2	諸 雑 費 率		%	8	名 称	規 格	単 位	表面清掃	表面及び内面清掃	土木一般世話役		人	0.4	0.6	普通作業員		#	1.4	2.2	高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型]作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	h	1.1	2.1	諸 雑 費 率		%	5	5	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	類 要																																																																																																																																						
機械施工 表面清掃	トンネル清掃車	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	台	1																																																																																																																																							
人力施工 表面清掃	高所作業車	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型]作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	#	1																																																																																																																																							
表面及び内面清掃																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	表面清掃																																																																																																																																								
土木一般世話役		人	0.02																																																																																																																																								
特殊作業員		#	0.03																																																																																																																																								
普通作業員		#	0.01																																																																																																																																								
トンネル清掃車運転	回転ブラシ式灯具清掃装置付	h	0.2																																																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	8																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	表面清掃	表面及び内面清掃																																																																																																																																							
土木一般世話役		人	0.4	0.5																																																																																																																																							
普通作業員		#	1.4	2.4																																																																																																																																							
高所作業車運転	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型]作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	h	4.5	9.1																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	0.7	1																																																																																																																																							
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	類 要																																																																																																																																						
機械施工 表面清掃	トンネル清掃車	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	台	1																																																																																																																																							
人力施工 表面清掃	高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型]作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	台	1																																																																																																																																							
表面及び内面清掃																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	表面清掃																																																																																																																																								
土木一般世話役		人	0.02																																																																																																																																								
特殊作業員		#	0.03																																																																																																																																								
普通作業員		#	0.01																																																																																																																																								
トンネル清掃車運転	回転ブラシ式灯具清掃装置付	h	0.2																																																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	8																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	表面清掃	表面及び内面清掃																																																																																																																																							
土木一般世話役		人	0.4	0.6																																																																																																																																							
普通作業員		#	1.4	2.2																																																																																																																																							
高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型]作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	h	1.1	2.1																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	5	5																																																																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3																																																																																																																																								

工 種	トンネル照明器具清掃工
-----	-------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																																																																																																																																																																														
	<p>現 行</p> <p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 機械施工表面清掃 トンネル延長100m当り単価表</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2"></td><td>施工歩掛コード</td><td>WB433910</td></tr> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> <tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.1</td></tr> <tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>トンネル清掃車運転</td><td>回転ブラシ式灯具清掃装置付</td><td>h</td><td></td><td>表3.1 機械損料</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.1</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(2) 人力施工表面清掃 照明灯100灯当り単価表</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2"></td><td>施工歩掛コード</td><td>WB433920</td></tr> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> <tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>高所作業車運転</td><td>[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m・積載荷重1,000kg</td><td>h</td><td></td><td>表3.2 機械損料</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(3) 人力施工表面及び内面清掃 照明灯100灯当り単価表</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2"></td><td>施工歩掛コード</td><td>WB433930</td></tr> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> <tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>高所作業車運転</td><td>[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m・積載荷重1,000kg</td><td>h</td><td></td><td>表3.2 機械損料</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指定事項</th></tr> <tr><td>トンネル清掃車</td><td>回転ブラシ式灯具清掃装置付</td><td>機-6</td><td></td></tr> <tr><td>高所作業車</td><td>[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m・積載荷重1,000kg</td><td>機-1</td><td></td></tr> </table>			施工歩掛コード	WB433910	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.1	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	トンネル清掃車運転	回転ブラシ式灯具清掃装置付	h		表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表3.1	計							施工歩掛コード	WB433920	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.2	普通作業員		〃		〃	高所作業車運転	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	h		表3.2 機械損料	諸 雑 費		式	1	表3.2	計							施工歩掛コード	WB433930	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.2	普通作業員		〃		〃	高所作業車運転	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	h		表3.2 機械損料	諸 雑 費		式	1	表3.2	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	トンネル清掃車	回転ブラシ式灯具清掃装置付	機-6		高所作業車	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	機-1		<p>改 正</p> <p>(1) 機械施工表面清掃 トンネル延長100m当り単価表</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2"></td><td>施工歩掛コード</td><td>WB433910</td></tr> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> <tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.1</td></tr> <tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>トンネル清掃車運転</td><td>回転ブラシ式灯具清掃装置付</td><td>h</td><td></td><td>表3.1 機械損料</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.1</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(1) 人力施工表面清掃 照明灯100灯当り単価表</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2"></td><td>施工歩掛コード</td><td>WB433920</td></tr> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> <tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.1</td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>高所作業車運転</td><td>[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg</td><td>h</td><td></td><td>表3.1 機械賃料</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.1</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(2) 人力施工表面及び内面清掃 照明灯100灯当り単価表</p> <table border="1"> <tr><td colspan="2"></td><td>施工歩掛コード</td><td>WB433930</td></tr> <tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr> <tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.1</td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>高所作業車運転</td><td>[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg</td><td>h</td><td></td><td>表3.1 機械賃料</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.1</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指定事項</th></tr> <tr><td>トンネル清掃車</td><td>回転ブラシ式灯具清掃装置付</td><td>機-6</td><td></td></tr> <tr><td>高所作業車</td><td>[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg</td><td>機-29</td><td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 22 (表面清掃) → 23 (表面及び内面清掃) → 23 機械賃料数量 → 1.42</td></tr> </table>			施工歩掛コード	WB433910	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.1	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	トンネル清掃車運転	回転ブラシ式灯具清掃装置付	h		表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表3.1	計							施工歩掛コード	WB433920	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.1	普通作業員		〃		〃	高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	h		表3.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表3.1	計							施工歩掛コード	WB433930	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.1	普通作業員		〃		〃	高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	h		表3.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表3.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	トンネル清掃車	回転ブラシ式灯具清掃装置付	機-6		高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	機-29	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 22 (表面清掃) → 23 (表面及び内面清掃) → 23 機械賃料数量 → 1.42	<p>備 考</p> <p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
		施工歩掛コード	WB433910																																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人		表3.1																																																																																																																																																																																																																																													
特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																													
トンネル清掃車運転	回転ブラシ式灯具清掃装置付	h		表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.1																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																	
		施工歩掛コード	WB433920																																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人		表3.2																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																													
高所作業車運転	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	h		表3.2 機械損料																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.2																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																	
		施工歩掛コード	WB433930																																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人		表3.2																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																													
高所作業車運転	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	h		表3.2 機械損料																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.2																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																	
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル清掃車	回転ブラシ式灯具清掃装置付	機-6																																																																																																																																																																																																																																															
高所作業車	[トラック架装・垂直昇降・プラットフォーム型] 作業床高13.2m・積載荷重1,000kg	機-1																																																																																																																																																																																																																																															
		施工歩掛コード	WB433910																																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人		表3.1																																																																																																																																																																																																																																													
特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																													
トンネル清掃車運転	回転ブラシ式灯具清掃装置付	h		表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.1																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																	
		施工歩掛コード	WB433920																																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人		表3.1																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																													
高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	h		表3.1 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.1																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																	
		施工歩掛コード	WB433930																																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																													
土木一般世話役		人		表3.1																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																													
高所作業車運転	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	h		表3.1 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表3.1																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																	
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル清掃車	回転ブラシ式灯具清掃装置付	機-6																																																																																																																																																																																																																																															
高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・プラットフォーム型] 作業床高9.9m・積載荷重1,000kg	機-29	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 22 (表面清掃) → 23 (表面及び内面清掃) → 23 機械賃料数量 → 1.42																																																																																																																																																																																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																																																																																																																																																																																																																														

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																										
	<p>現 行</p> <p>5. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 機械施工表面清掃</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433910</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>トンネル清掃車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込</td> <td colspan="2">トンネル清掃車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(2) 人力施工表面清掃</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433920</td> <td>施工単位</td> <td>灯</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込</td> <td colspan="2">高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(3) 人力施工表面及び内面清掃</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433930</td> <td>施工単位</td> <td>灯</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込</td> <td colspan="2">高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB433910	施工単位	m	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2		トンネル清掃車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	トンネル清掃車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)		施工歩掛コード	WB433920	施工単位	灯	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2		高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)		施工歩掛コード	WB433930	施工単位	灯	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2		高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)		<p>改 正</p> <p>5. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 機械施工表面清掃</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433910</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>トンネル清掃車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込</td> <td colspan="2">トンネル清掃車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(1) 人力施工表面清掃</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433920</td> <td>施工単位</td> <td>灯</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込</td> <td colspan="2">高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(2) 人力施工表面及び内面清掃</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB433930</td> <td>施工単位</td> <td>灯</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入力条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込</td> <td colspan="2">高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB433910	施工単位	m	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2		トンネル清掃車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	トンネル清掃車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)		施工歩掛コード	WB433920	施工単位	灯	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2		高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)		施工歩掛コード	WB433930	施工単位	灯	施工区分	入力条件			各種	J 1	J 2		高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)		<p>備考</p> <p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
施工歩掛コード	WB433910	施工単位	m																																																																																										
施工区分	入力条件																																																																																												
各種	J 1	J 2																																																																																											
	トンネル清掃車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	トンネル清掃車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																											
施工歩掛コード	WB433920	施工単位	灯																																																																																										
施工区分	入力条件																																																																																												
各種	J 1	J 2																																																																																											
	高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																											
施工歩掛コード	WB433930	施工単位	灯																																																																																										
施工区分	入力条件																																																																																												
各種	J 1	J 2																																																																																											
	高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																											
施工歩掛コード	WB433910	施工単位	m																																																																																										
施工区分	入力条件																																																																																												
各種	J 1	J 2																																																																																											
	トンネル清掃車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	トンネル清掃車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																											
施工歩掛コード	WB433920	施工単位	灯																																																																																										
施工区分	入力条件																																																																																												
各種	J 1	J 2																																																																																											
	高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																											
施工歩掛コード	WB433930	施工単位	灯																																																																																										
施工区分	入力条件																																																																																												
各種	J 1	J 2																																																																																											
	高所作業車の 機械使用条件 ①貸与 ②持込	高所作業車 供用日当り運転時間 ①標 準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																																																																										

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																														
	<p>③ アスファルト舗装版削孔工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、アスファルト舗装版等の削孔（ガードレールの支柱建込用の孔あけ等）において、削孔径 60 ～ 200 mm、削孔深 200 ～ 400 mm の場合に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> </div> <p>3. 機種の選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>適 用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>路盤などの上と混層している場合についても適用出来るものとする。</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 3kVA</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 発動発電機は、賃料とする。</p> <p>4. 施工歩掛 (1) 施工歩掛は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.1 削孔歩掛 (100 孔当り)</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット</td> <td>各種</td> <td>個</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm</td> <td>日</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 3kVA</td> <td>人</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、コンクリート穿孔機固定用のアンカー打込みに必要な費用であり、労務費及び機械運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 足場が必要な場合は別途計上する。 3. コンクリート削孔工については「第II編第2章共通工⑧コンクリート削孔工」を適用する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	適 用	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	台	1	路盤などの上と混層している場合についても適用出来るものとする。	発動発電機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	台	1		名 称	規 格	単 位	数 量	土木一般世話役		人	0.8	特殊作業員		人	4.9	普通作業員		人	1.4	ダイヤモンドビット	各種	個	2.9	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	日	5.2	発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	人	5.2	諸 雑 費 率		%	9.0	<p>③ 舗装版削孔工(アスファルト舗装版)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、アスファルト舗装版等の削孔（ガードレールの支柱建込用の孔あけ等）において、削孔径 60 mmを超え 200 mm以下、削孔深 400 mm以下 の場合に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> </div> <p>3. 機種の選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>路盤などの上と混層している場合についても適用出来るものとする。</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 3kVA</td> <td>台</td> <td>+</td> <td>—(注) 発動発電機は、賃料とする。—</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施工歩掛 (1) 施工歩掛は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.1 削孔歩掛 (100 孔当り)</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット</td> <td>各種</td> <td>個</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm</td> <td>日</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 3kVA</td> <td>人</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、ケーブル、アダプター、電力に関する経費、集塵機、集水機等の費用であり、労務費、材料費、機械損料及び機械運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 足場が必要な場合、舗装版削孔時に発生する濁水の運搬及び処理費が必要な場合は、別途計上する。 3. コンクリート削孔工については「第II編第2章共通工⑧コンクリート削孔工」を適用する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	台	1	路盤などの上と混層している場合についても適用出来るものとする。	発動発電機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	台	+	—(注) 発動発電機は、賃料とする。—	名 称	規 格	単 位	数 量	土木一般世話役		人	1.0	特殊作業員		人	2.0	普通作業員		人	2.0	ダイヤモンドビット	各種	個	2.0	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	日	2.6	発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	人	6.2	諸 雑 費 率		%	12	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	適 用																																																																																													
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	台	1	路盤などの上と混層している場合についても適用出来るものとする。																																																																																													
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	台	1																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																														
土木一般世話役		人	0.8																																																																																														
特殊作業員		人	4.9																																																																																														
普通作業員		人	1.4																																																																																														
ダイヤモンドビット	各種	個	2.9																																																																																														
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	日	5.2																																																																																														
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	人	5.2																																																																																														
諸 雑 費 率		%	9.0																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																													
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	台	1	路盤などの上と混層している場合についても適用出来るものとする。																																																																																													
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	台	+	—(注) 発動発電機は、賃料とする。—																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																														
土木一般世話役		人	1.0																																																																																														
特殊作業員		人	2.0																																																																																														
普通作業員		人	2.0																																																																																														
ダイヤモンドビット	各種	個	2.0																																																																																														
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	日	2.6																																																																																														
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	人	6.2																																																																																														
諸 雑 費 率		%	12																																																																																														
積算上の注意事項	IV-3-③-1		(控え頁) 1/2																																																																																														

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																																																																							
	<p>現 行</p> <p>(2) 適用削孔径及び使用ビット径については次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 適用削孔径と使用ビット径 (mm)</p> <table border="1"> <tr> <td>削孔径範囲 (mm)</td> <td>60を超え 64未満</td> <td>64以上 77未満</td> <td>77以上 90未満</td> <td>90以上 110未満</td> </tr> <tr> <td>使用ビット径</td> <td>64.7</td> <td>77.4</td> <td>90.8</td> <td>110.0</td> </tr> <tr> <td>削孔径範囲 (mm)</td> <td>110以上 128未満</td> <td>128以上 160未満</td> <td>160以上 180未満</td> <td>180以上 200以下</td> </tr> <tr> <td>使用ビット径</td> <td>128.5</td> <td>160.0</td> <td>180.0</td> <td>204.0</td> </tr> </table> <p>5. 単 備 表</p> <p>(1) アスファルト削孔 (コンクリート穿孔機) 100 孔当り単備表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>施工歩掛コード</td> <td colspan="2">WB435110</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.8</td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.9</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機用ビット</td> <td>ダイヤモンドビット</td> <td>個</td> <td>2.9</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>電動式コアボーリングマシン・ 簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm</td> <td>日</td> <td>5.2</td> <td>〃 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 3kVA</td> <td>〃</td> <td>5.2</td> <td>〃 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 機械運転単備表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単備表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 3kVA</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量 →11 機械賃料数量 →1.3</td> </tr> </table>	削孔径範囲 (mm)	60を超え 64未満	64以上 77未満	77以上 90未満	90以上 110未満	使用ビット径	64.7	77.4	90.8	110.0	削孔径範囲 (mm)	110以上 128未満	128以上 160未満	160以上 180未満	180以上 200以下	使用ビット径	128.5	160.0	180.0	204.0			施工歩掛コード	WB435110		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.8	表 4.1	特 殊 作 業 員		〃	4.9	〃	普 通 作 業 員		〃	1.4	〃	コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個	2.9	〃	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	日	5.2	〃 機械賃料	発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	〃	5.2	〃 機械賃料	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単備表	指 定 事 項	発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	機-16	燃料消費量 →11 機械賃料数量 →1.3	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>現行どおり</p> <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機用ビット</td> <td>ダイヤモンドビット</td> <td>個</td> <td>2.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機運転</td> <td>電動式コアボーリングマシン・ 簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm</td> <td>日</td> <td>2.6</td> <td>〃 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 3kVA</td> <td>〃</td> <td>6.2</td> <td>〃 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 機械運転単備表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単備表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm</td> <td>機-14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ガソリンエンジン駆動 3kVA</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量 →11 機械賃料数量 →1.3</td> </tr> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	表 4.1	特 殊 作 業 員		〃	2.0	〃	普 通 作 業 員		〃	2.0	〃	コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個	2.0	〃	コンクリート穿孔機運転	電動式コアボーリングマシン・ 簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	日	2.6	〃 機械賃料	発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	〃	6.2	〃 機械賃料	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単備表	指 定 事 項	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	機-14		発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	機-16	燃料消費量 →11 機械賃料数量 →1.3	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
削孔径範囲 (mm)	60を超え 64未満	64以上 77未満	77以上 90未満	90以上 110未満																																																																																																																																						
使用ビット径	64.7	77.4	90.8	110.0																																																																																																																																						
削孔径範囲 (mm)	110以上 128未満	128以上 160未満	160以上 180未満	180以上 200以下																																																																																																																																						
使用ビット径	128.5	160.0	180.0	204.0																																																																																																																																						
		施工歩掛コード	WB435110																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	0.8	表 4.1																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	4.9	〃																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	1.4	〃																																																																																																																																						
コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個	2.9	〃																																																																																																																																						
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	日	5.2	〃 機械賃料																																																																																																																																						
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	〃	5.2	〃 機械賃料																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																						
計																																																																																																																																										
機 械 名	規 格	適用単備表	指 定 事 項																																																																																																																																							
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	機-16	燃料消費量 →11 機械賃料数量 →1.3																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	表 4.1																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	2.0	〃																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	2.0	〃																																																																																																																																						
コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個	2.0	〃																																																																																																																																						
コンクリート穿孔機運転	電動式コアボーリングマシン・ 簡易仕様型・最大穿孔径φ25cm	日	2.6	〃 機械賃料																																																																																																																																						
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	〃	6.2	〃 機械賃料																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																						
計																																																																																																																																										
機 械 名	規 格	適用単備表	指 定 事 項																																																																																																																																							
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	機-14																																																																																																																																								
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 3kVA	機-16	燃料消費量 →11 機械賃料数量 →1.3																																																																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																																																																							

工 種	共同溝工
-----	------

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																																								
	現 行	改 正																																																																																																									
	<p>13-10 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8㎡(平積0.6㎡)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→1.49</td> </tr> <tr> <td>[掘削工] クラムシエル</td> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→1.46</td> </tr> <tr> <td>[基礎砕石工] クラムシエル</td> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[掘削工] 小型バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量 →15 機械損料数量→1.50</td> </tr> <tr> <td>[基礎砕石工] 小型バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量 →7 機械損料数量→1.67</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>オンロード・ディーゼル 10t積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →62 機械損料数量→1.24</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>普通・排出ガス対策型(第1次基準値) 3t級</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ(舗装用)</td> <td>ハンドガイド式 運転質量0.8~1.1t</td> <td>機-9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ランマ</td> <td>質量60~80kg</td> <td>機-8</td> <td>運転時間6h/日</td> </tr> <tr> <td>コンクリート ポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h</td> <td>機-3</td> <td>機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h</td> </tr> <tr> <td>コンクリート ポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h</td> <td>機-3</td> <td>機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L.2×1h</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。 2. L.2は、圧送管の延長とする。</p>	名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8㎡(平積0.6㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→1.49	[掘削工] クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→1.46	[基礎砕石工] クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡	機-1		[掘削工] 小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)	機-23	燃料消費量 →15 機械損料数量→1.50	[基礎砕石工] 小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)	機-23	燃料消費量 →7 機械損料数量→1.67	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →62 機械損料数量→1.24	ブルドーザ	普通・排出ガス対策型(第1次基準値) 3t級	機-1		振動ローラ(舗装用)	ハンドガイド式 運転質量0.8~1.1t	機-9		タイヤローラ	普通型・排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	機-1		ランマ	質量60~80kg	機-8	運転時間6h/日	コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h	機-3	機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h	コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h	機-3	機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L.2×1h	<p>13-10 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8㎡(平積0.6㎡)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→1.50</td> </tr> <tr> <td>[掘削工] クラムシエル</td> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→1.47</td> </tr> <tr> <td>[基礎砕石工] クラムシエル</td> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[掘削工] 小型バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量 →15 機械損料数量→1.52</td> </tr> <tr> <td>[基礎砕石工] 小型バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)</td> <td>機-23</td> <td>燃料消費量 →7 機械損料数量→1.69</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>オンロード・ディーゼル 10t積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →62 機械損料数量→1.25</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>普通・排出ガス対策型(第1次基準値) 3t級</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>振動ローラ(舗装用)</td> <td>ハンドガイド式 運転質量0.8~1.1t</td> <td>機-9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ランマ</td> <td>質量60~80kg</td> <td>機-8</td> <td>運転時間6h/日</td> </tr> <tr> <td>コンクリート ポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h</td> <td>機-3</td> <td>機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h</td> </tr> <tr> <td>コンクリート ポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h</td> <td>機-3</td> <td>機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L.2×1h</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。 2. L.2は、圧送管の延長とする。</p>	名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8㎡(平積0.6㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→ 1.50	[掘削工] クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→ 1.47	[基礎砕石工] クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡	機-1		[掘削工] 小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)	機-23	燃料消費量 →15 機械損料数量→ 1.52	[基礎砕石工] 小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)	機-23	燃料消費量 →7 機械損料数量→ 1.69	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →62 機械損料数量→ 1.25	ブルドーザ	普通・排出ガス対策型(第1次基準値) 3t級	機-1		振動ローラ(舗装用)	ハンドガイド式 運転質量0.8~1.1t	機-9		タイヤローラ	普通型・排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	機-1		ランマ	質量60~80kg	機-8	運転時間6h/日	コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h	機-3	機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h	コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h	機-3	機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L.2×1h	記載の変更
名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																								
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8㎡(平積0.6㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→1.49																																																																																																								
[掘削工] クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→1.46																																																																																																								
[基礎砕石工] クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡	機-1																																																																																																									
[掘削工] 小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)	機-23	燃料消費量 →15 機械損料数量→1.50																																																																																																								
[基礎砕石工] 小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)	機-23	燃料消費量 →7 機械損料数量→1.67																																																																																																								
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →62 機械損料数量→1.24																																																																																																								
ブルドーザ	普通・排出ガス対策型(第1次基準値) 3t級	機-1																																																																																																									
振動ローラ(舗装用)	ハンドガイド式 運転質量0.8~1.1t	機-9																																																																																																									
タイヤローラ	普通型・排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	機-1																																																																																																									
ランマ	質量60~80kg	機-8	運転時間6h/日																																																																																																								
コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h	機-3	機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h																																																																																																								
コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h	機-3	機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L.2×1h																																																																																																								
名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																								
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.8㎡(平積0.6㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→ 1.50																																																																																																								
[掘削工] クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →93 機械損料数量→ 1.47																																																																																																								
[基礎砕石工] クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4㎡	機-1																																																																																																									
[掘削工] 小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)	機-23	燃料消費量 →15 機械損料数量→ 1.52																																																																																																								
[基礎砕石工] 小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.08㎡(平積0.06㎡)	機-23	燃料消費量 →7 機械損料数量→ 1.69																																																																																																								
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →62 機械損料数量→ 1.25																																																																																																								
ブルドーザ	普通・排出ガス対策型(第1次基準値) 3t級	機-1																																																																																																									
振動ローラ(舗装用)	ハンドガイド式 運転質量0.8~1.1t	機-9																																																																																																									
タイヤローラ	普通型・排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	機-1																																																																																																									
ランマ	質量60~80kg	機-8	運転時間6h/日																																																																																																								
コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h	機-3	機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h																																																																																																								
コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h	機-3	機械損料1 →コンクリートポンプ車 (トラック架装・ブーム式 圧送能力65~85㎡/h) 機械損料2 →コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L.2×1h																																																																																																								
IV-4-①-30																																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																								

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考
現	行	改 正	備 考
	<p>② 電線共同溝工 (C・C・BOX)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、電線共同溝 (C・C・BOX) の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 舗装版破砕積込</p> <p>(1) 厚さが15cm以下のアスファルト舗装版の破砕及び積込作業の場合</p> <p>1-1-2 床掘り</p> <p>(1) 土質が土砂 (砂質土及び砂, 粘性土, レキ質土) の床掘り作業の場合</p> <p>1-1-3 埋戻し・締固め</p> <p>(1) 管路材及びプレキャストボックス設置後の埋設表示シートの設置を含む埋戻し・締固め作業の場合</p> <p>1-1-4 運搬 (電線共同溝)</p> <p>(1) 舗装版破砕後のアスファルト塊及び床掘り土砂の運搬作業の場合</p> <p>1-1-5 軽量鋼矢板設置・撤去</p> <p>(1) 土留工における軽量鋼矢板の設置及び撤去作業の場合</p> <p>1-1-6 覆工板設置・撤去</p> <p>(1) 覆工板の設置及び撤去作業の場合</p> <p>1-1-7 管路材設置</p> <p>(1) 露出部に単管 (呼び径150mm以下) を設置する場合</p> <p>(2) 埋設部に単管・F A管 (呼び径150mm以下), ボディ管 (呼び径200mm (さや管12条以下), 250mm (さや管21条以下)), 多条管 (可とう性のある波付き管路材で呼び径150mm以下) を設置する場合</p> <p>1-1-8 プレキャストボックス工</p> <p>(1) 質量が11,000kg以下のプレキャストボックスブロックの設置作業の場合</p> <p>1-1-9 蓋設置工</p> <p>(1) 質量が2,000kg以下の蓋の設置作業の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 運搬 (電線共同溝)</p> <p>(1) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p>(2) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>1-2-2 管路材設置</p> <p>(1) 多孔管を設置する場合</p> <p>(2) 材質が合成樹脂製品以外の場合</p> <p style="text-align: center;">IV-1-②-1</p>	<p>② 電線共同溝工 (C・C・BOX)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、電線共同溝 (C・C・BOX) の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 舗装版破砕積込 (電線共同溝工)</p> <p>(1) 厚さが15cm以下のアスファルト舗装版の破砕及び積込作業の場合</p> <p>1-1-2 床掘り (電線共同溝工)</p> <p>(1) 土質が土砂 (砂質土及び砂, 粘性土, レキ質土) の床掘り作業の場合</p> <p>1-1-3 埋戻し・締固め (電線共同溝工)</p> <p>(1) 管路材及びプレキャストボックス設置後の埋設表示シートの設置を含む埋戻し・締固め作業の場合</p> <p>1-1-4 運搬 (電線共同溝工)</p> <p>(1) 舗装版破砕後のアスファルト塊及び床掘り土砂の運搬作業の場合</p> <p>1-1-5 軽量鋼矢板設置・撤去</p> <p>(1) 土留工における軽量鋼矢板の設置及び撤去作業の場合</p> <p>1-1-6 覆工板設置・撤去</p> <p>(1) 覆工板の設置及び撤去作業の場合</p> <p>1-1-7 管路材設置</p> <p>(1) 露出部に単管 (呼び径150mm以下) を設置する場合</p> <p>(2) 埋設部に単管・F A管 (呼び径150mm以下), ボディ管 (呼び径200mm (さや管12条以下), 250mm (さや管21条以下)), 多条管 (可とう性のある波付き管路材で呼び径150mm以下) を設置する場合</p> <p>1-1-8 プレキャストボックス工</p> <p>(1) 質量が11,000kg以下のプレキャストボックスブロックの設置作業の場合</p> <p>1-1-9 蓋設置工</p> <p>(1) 質量が2,000kg以下の蓋の設置作業の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 運搬 (電線共同溝工)</p> <p>(1) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p>(2) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>1-2-2 管路材設置</p> <p>(1) 多孔管を設置する場合</p> <p>(2) 材質が合成樹脂製品以外の場合</p>	記載の変更
積算上の注意事項			(控え頁) 1/14

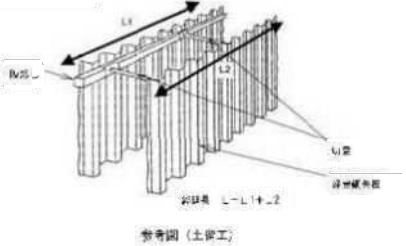
改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																																																										
現 行		改 正																																																																																										
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 舗装版破砕積込</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>舗装版破砕積込に積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 電線共同溝工における舗装版破砕積込等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 運搬作業は、「3-4 運搬(電線共同溝)」により別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 舗装版破砕積込 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手(特殊)		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 舗装版破砕積込 (電線共同溝工)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>舗装版破砕積込 (電線共同溝工) に積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 電線共同溝工における舗装版破砕積込等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 運搬作業は、「3-4 運搬(電線共同溝工)」により別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 舗装版破砕積込(電線共同溝工) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手(特殊)		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>記載の変更</p> <p>記載の修正・削除(歩掛改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t	賃料																																																																																									
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																																										
	R 2	土木一般世話役																																																																																										
	R 3	運転手(特殊)																																																																																										
	R 4	—																																																																																										
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t	賃料																																																																																									
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	普通作業員																																																																																										
	R 2	土木一般世話役																																																																																										
	R 3	運転手(特殊)																																																																																										
	R 4	—																																																																																										
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																										
	Z 2	—																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 2/14																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																														
	<p>3-2 床掘り (1) 条件区分 床掘りに積算条件区分はない。 積算単位は、m3とする。 (注) 1. 電線共同溝工における床掘り等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. オープン掘削の場合も適用する。 3. 積込み、基面整正を含む。 4. 運搬作業は、「3-4 運搬(電線共同溝)」により別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表3.2 床掘り 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 運転手(特殊)		R 4 -		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>3-2 床掘り(電線共同溝工) (1) 条件区分 床掘り(電線共同溝工)に積算条件区分はない。 積算単位は、m3とする。 (注) 1. 電線共同溝工における床掘り等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. オープン掘削の場合も適用する。 3. 積込み、基面整正を含む。 4. 運搬作業は、「3-4 運搬(電線共同溝工)」により別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表3.2 床掘り(電線共同溝工) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 運転手(特殊)		R 4 -		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>記載の変更</p> <p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	賃料																																																															
	K 2 -																																																																
	K 3 -																																																																
労務	R 1 普通作業員																																																																
	R 2 土木一般世話役																																																																
	R 3 運転手(特殊)																																																																
	R 4 -																																																																
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																
	Z 2 -																																																																
	Z 3 -																																																																
	Z 4 -																																																																
市場単価	S -																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t	賃料																																																															
	K 2 -																																																																
	K 3 -																																																																
労務	R 1 普通作業員																																																																
	R 2 土木一般世話役																																																																
	R 3 運転手(特殊)																																																																
	R 4 -																																																																
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																
	Z 2 -																																																																
	Z 3 -																																																																
	Z 4 -																																																																
市場単価	S -																																																																
積算上の注意事項	IV-1-②-1		(控え頁) 3/14																																																														

工 種	電線共同溝工 (C・C・BOX)
-----	------------------

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																				
現	行	改	正																																																																				
<p>3-3 埋戻し・締め (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 埋戻し・締め 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">土質</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">土砂</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">中埋砂</td></tr> </table> <p>(注) 1. 電線共同溝工における埋戻し・締め、埋設表示シートの設置作業の他、締め機械(ランマ・振動コンバクタ)、水締施工器具(散水車・高圧洗浄機・発動発電機)、竹ぼうき、スコップの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 中埋砂の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.20) 3. 埋設表示シートの材料費は、別途計上する。 4. 埋戻し・締め(中埋砂)の締めは、水締施工とする。 5. 水締施工に用いる水に、水代が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 埋戻し・締め 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 砂 再生砂</td> <td>土質が中埋砂の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土質	土砂	中埋砂	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t	賃料	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 運転手(特殊)		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 砂 再生砂	土質が中埋砂の場合	Z 2 軽油 バトロール給油		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		<p>3-3 埋戻し・締め (電線共同溝工) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 埋戻し・締め(電線共同溝工) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">土質</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">土砂</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">中埋砂</td></tr> </table> <p>(注) 1. 電線共同溝工における埋戻し・締め、埋設表示シートの設置作業の他、締め機械(ランマ・振動コンバクタ)、水締施工器具(散水車・高圧洗浄機・発動発電機)、竹ぼうき、スコップの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 中埋砂の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.20) 3. 埋設表示シートの材料費は、別途計上する。 4. 埋戻し・締め(中埋砂)の締めは、水締施工とする。 5. 水締施工に用いる水に、水代が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 埋戻し・締め(電線共同溝工) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 砂 再生砂</td> <td>土質が中埋砂の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土質	土砂	中埋砂	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t	賃料	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 運転手(特殊)		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 砂 再生砂	土質が中埋砂の場合	Z 2 軽油 バトロール給油		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		<p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">IV-I-②-5</p>	<p>記載の変更</p> <p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
土質																																																																							
土砂																																																																							
中埋砂																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																					
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t	賃料																																																																					
	K 2 —																																																																						
	K 3 —																																																																						
労務	R 1 普通作業員																																																																						
	R 2 運転手(特殊)																																																																						
	R 3 土木一般世話役																																																																						
	R 4 特殊作業員																																																																						
材料	Z 1 砂 再生砂	土質が中埋砂の場合																																																																					
	Z 2 軽油 バトロール給油																																																																						
	Z 3 —																																																																						
	Z 4 —																																																																						
市場単価	S —																																																																						
土質																																																																							
土砂																																																																							
中埋砂																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																					
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t	賃料																																																																					
	K 2 —																																																																						
	K 3 —																																																																						
労務	R 1 普通作業員																																																																						
	R 2 運転手(特殊)																																																																						
	R 3 土木一般世話役																																																																						
	R 4 特殊作業員																																																																						
材料	Z 1 砂 再生砂	土質が中埋砂の場合																																																																					
	Z 2 軽油 バトロール給油																																																																						
	Z 3 —																																																																						
	Z 4 —																																																																						
市場単価	S —																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 4/14																																																																				

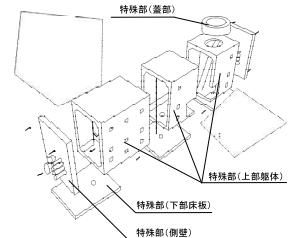
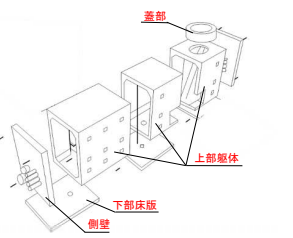
改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																
現	行	改	正																																															
<p>3-4 運搬(電線共同溝)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 運搬(電線共同溝) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積載区分</th> <th>DID 区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">無し</td> <td>0.5km 以下</td> </tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>6.5km 以下</td></tr> <tr><td>11.5km 以下</td></tr> <tr><td>26.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">有り</td> <td>0.5km 以下</td> </tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td>22.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、電線共同溝工における舗装版破砕によって発生するアスファルト塊及び床掘りによって発生する土砂の運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、積込作業は含まない。 2. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。 3. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 4. DID (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 積載区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積載区分</td> <td>土砂</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アスファルト塊</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-1-②-6</p>		積載区分	DID 区間の有無	運搬距離	(表 3.6)	無し	0.5km 以下	2.0km 以下	3.5km 以下	6.5km 以下	11.5km 以下	26.5km 以下	60.0km 以下	有り	0.5km 以下	2.0km 以下	3.5km 以下	6.0km 以下	10.5km 以下	22.5km 以下	60.0km 以下	積算条件	区分	積載区分	土砂		アスファルト塊	<p>3-4 運搬(電線共同溝工)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 運搬(電線共同溝工) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積載区分</th> <th>DID 区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">無し</td> <td>0.5km 以下</td> </tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>6.5km 以下</td></tr> <tr><td>11.5km 以下</td></tr> <tr><td>26.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">有り</td> <td>0.5km 以下</td> </tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td>22.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		積載区分	DID 区間の有無	運搬距離	(表 3.6)	無し	0.5km 以下	2.0km 以下	3.5km 以下	6.5km 以下	11.5km 以下	26.5km 以下	60.0km 以下	有り	0.5km 以下	2.0km 以下	3.5km 以下	6.0km 以下	10.5km 以下	22.5km 以下	60.0km 以下	<p>記載の変更</p>
積載区分	DID 区間の有無	運搬距離																																																
(表 3.6)	無し	0.5km 以下																																																
		2.0km 以下																																																
		3.5km 以下																																																
		6.5km 以下																																																
		11.5km 以下																																																
		26.5km 以下																																																
		60.0km 以下																																																
	有り	0.5km 以下																																																
		2.0km 以下																																																
		3.5km 以下																																																
		6.0km 以下																																																
		10.5km 以下																																																
		22.5km 以下																																																
		60.0km 以下																																																
積算条件	区分																																																	
積載区分	土砂																																																	
	アスファルト塊																																																	
積載区分	DID 区間の有無	運搬距離																																																
(表 3.6)	無し	0.5km 以下																																																
		2.0km 以下																																																
		3.5km 以下																																																
		6.5km 以下																																																
		11.5km 以下																																																
		26.5km 以下																																																
		60.0km 以下																																																
	有り	0.5km 以下																																																
		2.0km 以下																																																
		3.5km 以下																																																
		6.0km 以下																																																
		10.5km 以下																																																
		22.5km 以下																																																
		60.0km 以下																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 5/14																																															

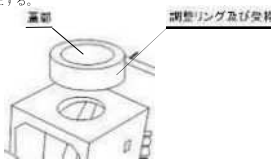
改正理由	一部改正	改正 現行																																																																
現 行		改 正																																																																
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.7 運搬(電線共同溝) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積載</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5 軽量鋼矢板設置・撤去 (1) 条件区分 軽量鋼矢板設置・撤去到積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. 電線共同溝工における軽量鋼矢板、切梁・脱起し材の設置・撤去及び運搬距離30m程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、軽量鋼矢板等の賃料は含まない。 2. 現場条件により、根入れが必要な場合及び他の土留工法を行う場合は別途考慮する。 3. 矢板設置延長は、総延長とする。 4. 軽量鋼矢板等に関する賃料等は、別途計上する。</p> 		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積載	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 運転手(一般)		R 2 -		R 3 -		R 4 -		材料	Z 1 軽油 バトルール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.7 運搬(電線共同溝工) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積載</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積載	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 運転手(一般)		R 2 -		R 3 -		R 4 -		材料	Z 1 軽油 バトルール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		備考 記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積載	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																
	K 2 -																																																																	
	K 3 -																																																																	
労務	R 1 運転手(一般)																																																																	
	R 2 -																																																																	
	R 3 -																																																																	
	R 4 -																																																																	
材料	Z 1 軽油 バトルール給油																																																																	
	Z 2 -																																																																	
	Z 3 -																																																																	
	Z 4 -																																																																	
市場単価	S -																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																
機械	K 1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積載	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																
	K 2 -																																																																	
	K 3 -																																																																	
労務	R 1 運転手(一般)																																																																	
	R 2 -																																																																	
	R 3 -																																																																	
	R 4 -																																																																	
材料	Z 1 軽油 バトルール給油																																																																	
	Z 2 -																																																																	
	Z 3 -																																																																	
	Z 4 -																																																																	
市場単価	S -																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 6/14																																																															

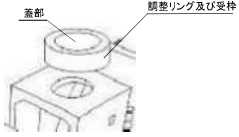
改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現 行	備 考																																																																																																																																																																																
	現 行	改 正																																																																																																																																																																																	
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 軽量鋼矢板設置・撤去 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m³ (平積 0.2m³) 吊能力 1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 覆工板設置・撤去 (1) 条件区分 覆工板設置・撤去到積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. 電線共同溝工における覆工板の設置・撤去等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、覆工板の賃料は含まない。 2. 覆工板設置・撤去の施工数量は、工事中の延べ設置・撤去面積とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 覆工板設置・撤去 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m³ (平積 0.2m³) 吊能力 1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手 (特殊)		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手 (特殊)		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 軽量鋼矢板設置・撤去 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積 0.28m³ (平積 0.2m³) 吊能力 1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 覆工板設置・撤去 (1) 条件区分 覆工板設置・撤去到積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. 電線共同溝工における覆工板の設置・撤去等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、覆工板の賃料は含まない。 2. 覆工板設置・撤去の施工数量は、工事中の延べ設置・撤去面積とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 覆工板設置・撤去 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積 0.28m³ (平積 0.2m³) 吊能力 1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手 (特殊)		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手 (特殊)		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
項目		代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	賃料																																																																																																																																																																																
	K 2	—																																																																																																																																																																																	
	K 3	—																																																																																																																																																																																	
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																	
	R 2	特殊作業員																																																																																																																																																																																	
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																	
	R 4	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																	
	Z 2	—																																																																																																																																																																																	
	Z 3	—																																																																																																																																																																																	
	Z 4	—																																																																																																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																	
項目		代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	賃料																																																																																																																																																																																
	K 2	—																																																																																																																																																																																	
	K 3	—																																																																																																																																																																																	
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																	
	R 2	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																	
	R 3	特殊作業員																																																																																																																																																																																	
	R 4	土木一般世話役																																																																																																																																																																																	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																	
	Z 2	—																																																																																																																																																																																	
	Z 3	—																																																																																																																																																																																	
	Z 4	—																																																																																																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																	
項目		代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	賃料																																																																																																																																																																																
	K 2	—																																																																																																																																																																																	
	K 3	—																																																																																																																																																																																	
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																	
	R 2	特殊作業員																																																																																																																																																																																	
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																	
	R 4	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																	
	Z 2	—																																																																																																																																																																																	
	Z 3	—																																																																																																																																																																																	
	Z 4	—																																																																																																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																	
項目		代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値-2014年規制)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	賃料																																																																																																																																																																																
	K 2	—																																																																																																																																																																																	
	K 3	—																																																																																																																																																																																	
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																	
	R 2	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																	
	R 3	特殊作業員																																																																																																																																																																																	
	R 4	土木一般世話役																																																																																																																																																																																	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																	
	Z 2	—																																																																																																																																																																																	
	Z 3	—																																																																																																																																																																																	
	Z 4	—																																																																																																																																																																																	
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																	
IV-1-②-8																																																																																																																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 7/14																																																																																																																																																																																

改正理由	一部改正		改正 現行																								
現行	改正			備考																							
<p>3-7 管路材設置 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 管路材設置 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" data-bbox="369 526 862 949"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>設置区分</th> <th>さや管の条数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">露出部</td> <td>単管設置</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>F A管設置</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">埋設部</td> <td rowspan="5">ボディ管 (φ200mm) 設置 (さや管含む)</td> <td>標準：8条(6条(φ50)+2条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準：10条(5条(φ50)+5条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準：11条(4条(φ50)+7条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準：12条(3条(φ50)+9条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準以外の組合せ (φ50, φ30 使用) φ50, φ30 以外の使用</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">ボディ管 (φ250mm) 設置 (さや管含む)</td> <td>標準：11条(9条(φ50)+2条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準：14条(8条(φ50)+6条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準：15条(7条(φ50)+8条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準：16条(6条(φ50)+10条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準：20条(5条(φ50)+15条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準：21条(4条(φ50)+17条(φ30))</td> </tr> <tr> <td>標準以外の組合せ (φ50, φ30 使用) φ50, φ30 以外の使用</td> </tr> <tr> <td>多条管設置</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、電線共同溝工における管路材(露出部及び埋設部)の設置、管(さや管を含む)の接続労務、露出部の受・支持金具及びアンカーの設置労務、埋設部(単管・F A管・ボディ管)の管路受台(スベ一サ)の設置労務、埋設部(多条管)の結束労務、管路清掃及び通過試験の他、清掃器具(掃除機)、管路材の接続・切断に要する費用(大バール・大ハンマ・ディスクグラインダ) 導通検査機の損料及び運転経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 管路材(単管・F A管・ボディ管)の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.05) なお、スクラップ控除は行わない。 3. 露出部とは、橋架添架及びトンネル内等設置により露出管路となる部分をいう。 4. 受・支持金具、アンカー材、管路受台、通線ひもの材料費は、必要量を別途計上する。 5. 接続継手、分岐管、滑剤料の材料費は、必要量を別途計上する。なお、接続継手の形状は問わずすべて計上すること。 6. 多孔管を設置する場合は適用出来ない。(多孔管参考図参照) 7. 多条管は、管1本当り(1条当り)とする。 8. さや管の条数は、ボディ管1本当りに対する条数とする。条数は、ボディ管1本に対しφ200mmが12条以下、φ250mmが21条以下とする。 9. さや管にφ50, φ30以外を使用する場合は、さや管の材料費を別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-1-②-9</p>	作業区分	設置区分	さや管の条数	露出部	単管設置	—	F A管設置	—	埋設部	ボディ管 (φ200mm) 設置 (さや管含む)	標準：8条(6条(φ50)+2条(φ30))	標準：10条(5条(φ50)+5条(φ30))	標準：11条(4条(φ50)+7条(φ30))	標準：12条(3条(φ50)+9条(φ30))	標準以外の組合せ (φ50, φ30 使用) φ50, φ30 以外の使用	ボディ管 (φ250mm) 設置 (さや管含む)	標準：11条(9条(φ50)+2条(φ30))	標準：14条(8条(φ50)+6条(φ30))	標準：15条(7条(φ50)+8条(φ30))	標準：16条(6条(φ50)+10条(φ30))	標準：20条(5条(φ50)+15条(φ30))	標準：21条(4条(φ50)+17条(φ30))	標準以外の組合せ (φ50, φ30 使用) φ50, φ30 以外の使用	多条管設置	—	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、電線共同溝工における管路材(露出部及び埋設部)の設置、管(さや管を含む)の接続労務、露出部の受・支持金具及びアンカーの設置労務、埋設部(単管・F A管・ボディ管)の管路受台(スベ一サ)の設置労務、埋設部(多条管)の結束労務、管路清掃及び通過試験の他、清掃器具(掃除機)、管路材(単管・F A管・ボディ管)の接続・切断に要する費用(大バール・大ハンマ・ディスクグラインダ・電動発電機)、管路材(多条管)の切断に要する費用(ディスクグラインダ・電動発電機)、導通検査試験機の損料及び運転経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 埋設部(多条管)は、定尺材どうしを現場接続する管材を用いる場合に適用し、長尺材(現場接続が不要な管材)を用いる場合には適用しない。 ③. 管路材(単管・F A管・ボディ管)の材料ロスを含む。(標準ロス率は、単管・F A管・ボディ管が+0.05、多条管が+0.03とする。) なお、スクラップ控除は行わない。 ④. 露出部とは、橋架添架及びトンネル内等設置により露出管路となる部分をいう。 ⑤. 受・支持金具、アンカー材、管路受台、通線ひもの材料費は、必要量を別途計上する。 ⑥. 接続継手、分岐管、滑剤料の材料費は、必要量を別途計上する。なお、接続継手の形状は問わずすべて計上すること。 ⑦. 多孔管を設置する場合は適用出来ない。(多孔管参考図参照) ⑧. 多条管は、管1本当り(1条当り)とする。 ⑨. さや管の条数は、ボディ管1本当りに対する条数とする。条数は、ボディ管1本に対しφ200mmが12条以下、φ250mmが21条以下とする。 ⑩. さや管にφ50, φ30以外を使用する場合は、さや管の材料費を別途計上する。</p>	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
作業区分	設置区分	さや管の条数																									
露出部	単管設置	—																									
	F A管設置	—																									
埋設部	ボディ管 (φ200mm) 設置 (さや管含む)	標準：8条(6条(φ50)+2条(φ30))																									
		標準：10条(5条(φ50)+5条(φ30))																									
		標準：11条(4条(φ50)+7条(φ30))																									
		標準：12条(3条(φ50)+9条(φ30))																									
		標準以外の組合せ (φ50, φ30 使用) φ50, φ30 以外の使用																									
	ボディ管 (φ250mm) 設置 (さや管含む)	標準：11条(9条(φ50)+2条(φ30))																									
		標準：14条(8条(φ50)+6条(φ30))																									
		標準：15条(7条(φ50)+8条(φ30))																									
		標準：16条(6条(φ50)+10条(φ30))																									
		標準：20条(5条(φ50)+15条(φ30))																									
		標準：21条(4条(φ50)+17条(φ30))																									
		標準以外の組合せ (φ50, φ30 使用) φ50, φ30 以外の使用																									
		多条管設置	—																								
		積算上の注意事項				(控え頁) 8/14																					

改正理由	一部改正		改正	備考																																																																																																																	
	現 行		現 行																																																																																																																		
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。	<p align="center">表3.11 管路材設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m³ (平積 0.2m³) 吊能力 1.7t</td> <td>・賃料 ・設置区分が多条管の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>設置区分が多条管の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="11">材料</td> <td rowspan="5">Z 1</td> <td>管路材 FFP (波付硬質ポリエチレン管) φ100mm (非難燃)</td> <td>作業区分が露出部の場合</td> </tr> <tr> <td>管路材 直管 φ100mm (SUD II-V 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分が単管の場合</td> </tr> <tr> <td>管路材 直管 φ150mm (フリーアクセス-V 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がFA管の場合</td> </tr> <tr> <td>管路材 直管 φ200mm (ボディ-V 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm)設置(さや管含む)の場合</td> </tr> <tr> <td>管路材 直管 φ250mm (ボディ-V 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ250mm)設置(さや管含む)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>管路材 直管 φ100mm (非難燃)</td> <td>設置区分が多条管の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Z 2</td> <td>管路材 直管 φ50mm (SU 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合</td> </tr> <tr> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>設置区分が多条管の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>管路材 直管 φ30mm (SU 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	・賃料 ・設置区分が多条管の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	運転手 (特殊)	設置区分が多条管の場合	材料	Z 1	管路材 FFP (波付硬質ポリエチレン管) φ100mm (非難燃)	作業区分が露出部の場合	管路材 直管 φ100mm (SUD II-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分が単管の場合	管路材 直管 φ150mm (フリーアクセス-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がFA管の場合	管路材 直管 φ200mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm)設置(さや管含む)の場合	管路材 直管 φ250mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ250mm)設置(さや管含む)の場合	Z 2	管路材 直管 φ100mm (非難燃)	設置区分が多条管の場合	Z 2	管路材 直管 φ50mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合	軽油 バトロール給油	設置区分が多条管の場合	Z 3	管路材 直管 φ30mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合	Z 4	—		市場単価	S	—		(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。	<p align="center">表3.11 管路材設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m³ (平積 0.2m³) 吊能力 1.7t</td> <td>・賃料 ・設置区分が多条管の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>設置区分が多条管の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="11">材料</td> <td rowspan="5">Z 1</td> <td>管路材 FFP (波付硬質ポリエチレン管) φ100mm (非難燃)</td> <td>作業区分が露出部の場合</td> </tr> <tr> <td>管路材 直管 φ100mm (SUD II-V 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分が単管の場合</td> </tr> <tr> <td>管路材 直管 φ150mm (フリーアクセス-V 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がFA管の場合</td> </tr> <tr> <td>管路材 直管 φ200mm (ボディ-V 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm)設置(さや管含む)の場合</td> </tr> <tr> <td>管路材 直管 φ250mm (ボディ-V 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ250mm)設置(さや管含む)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>管路材 直管 φ100mm (非難燃)</td> <td>設置区分が多条管の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Z 2</td> <td>管路材 直管 φ50mm (SU 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合</td> </tr> <tr> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>設置区分が多条管の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>管路材 直管 φ30mm (SU 管)</td> <td>作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	・賃料 ・設置区分が多条管の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	運転手 (特殊)	設置区分が多条管の場合	材料	Z 1	管路材 FFP (波付硬質ポリエチレン管) φ100mm (非難燃)	作業区分が露出部の場合	管路材 直管 φ100mm (SUD II-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分が単管の場合	管路材 直管 φ150mm (フリーアクセス-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がFA管の場合	管路材 直管 φ200mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm)設置(さや管含む)の場合	管路材 直管 φ250mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ250mm)設置(さや管含む)の場合	Z 2	管路材 直管 φ100mm (非難燃)	設置区分が多条管の場合	Z 2	管路材 直管 φ50mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合	軽油 バトロール給油	設置区分が多条管の場合	Z 3	管路材 直管 φ30mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合	Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																			
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	・賃料 ・設置区分が多条管の場合																																																																																																																		
	K 2	—																																																																																																																			
	K 3	—																																																																																																																			
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																			
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																			
	R 3	特殊作業員																																																																																																																			
	R 4	運転手 (特殊)	設置区分が多条管の場合																																																																																																																		
材料	Z 1	管路材 FFP (波付硬質ポリエチレン管) φ100mm (非難燃)	作業区分が露出部の場合																																																																																																																		
		管路材 直管 φ100mm (SUD II-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分が単管の場合																																																																																																																		
		管路材 直管 φ150mm (フリーアクセス-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がFA管の場合																																																																																																																		
		管路材 直管 φ200mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm)設置(さや管含む)の場合																																																																																																																		
		管路材 直管 φ250mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ250mm)設置(さや管含む)の場合																																																																																																																		
	Z 2	管路材 直管 φ100mm (非難燃)	設置区分が多条管の場合																																																																																																																		
	Z 2	管路材 直管 φ50mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合																																																																																																																		
		軽油 バトロール給油	設置区分が多条管の場合																																																																																																																		
	Z 3	管路材 直管 φ30mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																			
	市場単価	S	—																																																																																																																		
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																			
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t	・賃料 ・設置区分が多条管の場合																																																																																																																		
	K 2	—																																																																																																																			
	K 3	—																																																																																																																			
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																			
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																			
	R 3	特殊作業員																																																																																																																			
	R 4	運転手 (特殊)	設置区分が多条管の場合																																																																																																																		
材料	Z 1	管路材 FFP (波付硬質ポリエチレン管) φ100mm (非難燃)	作業区分が露出部の場合																																																																																																																		
		管路材 直管 φ100mm (SUD II-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分が単管の場合																																																																																																																		
		管路材 直管 φ150mm (フリーアクセス-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がFA管の場合																																																																																																																		
		管路材 直管 φ200mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm)設置(さや管含む)の場合																																																																																																																		
		管路材 直管 φ250mm (ボディ-V 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ250mm)設置(さや管含む)の場合																																																																																																																		
	Z 2	管路材 直管 φ100mm (非難燃)	設置区分が多条管の場合																																																																																																																		
	Z 2	管路材 直管 φ50mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合																																																																																																																		
		軽油 バトロール給油	設置区分が多条管の場合																																																																																																																		
	Z 3	管路材 直管 φ30mm (SU 管)	作業区分が埋設部、設置区分がボディ管(φ200mm、φ250mm)設置(さや管含む)の場合																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																			
	市場単価	S	—																																																																																																																		
積算上の注意事項				(控え頁) 9/14																																																																																																																	


改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考				
現 行	改 正		備 考				
<p>3-8 受金具 (材料費) (1) 条件区分 受金具 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-9 支持金具 (材料費) (1) 条件区分 支持金具 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-10 管路受台 (スベーサ) (材料費) (1) 条件区分 管路受台 (スベーサ) (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-11 プレキャストボックスブロック設置 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 プレキャストボックスブロック設置 積算条件区分一覧 (積算単位:個)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ボックスブロック 1個当り質量</td> </tr> <tr> <td>1,000 kg以下</td> </tr> <tr> <td>1,000 kgを超え 4,000 kg以下</td> </tr> <tr> <td>4,000 kgを超え 11,000 kg以下</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、プレキャストボックスブロックの設置、水抜きドレーンの設置等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 特殊部 (プレキャストボックス) は、側壁、上部躯体、下部床版からなる個々のブロックより構成される。 3. 上表にて計上するボックスブロック個数は、蓋、受枠を除く側壁、上部躯体、下部床版によるブロック数を計上する。なお、上部躯体質量は、蓋部、調整リング及び受枠の質量を含めないものとする。 4. 水抜きドレーン材は、必要量を別途計上する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>IV-1-②-12</p> </div>	ボックスブロック 1個当り質量	1,000 kg以下	1,000 kgを超え 4,000 kg以下	4,000 kgを超え 11,000 kg以下	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">} 現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、プレキャストボックスブロックの設置、水抜きドレーンの設置等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 特殊部 (プレキャストボックス) は、側壁、上部躯体、下部床版からなる個々のブロックより構成される。 3. 上表にて計上するボックスブロック個数は、蓋部・調整リング及び受枠を除く側壁、本体 (上部躯体、下部床版) からなる個々のブロック数を計上する。なお、上部躯体質量は、蓋部・調整リング及び受枠の質量を含めないものとする。 4. 水抜きドレーン材は、必要量を別途計上する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>(プレキャストボックスブロック参考図)</p> </div>		<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
ボックスブロック 1個当り質量							
1,000 kg以下							
1,000 kgを超え 4,000 kg以下							
4,000 kgを超え 11,000 kg以下							
積算上の注意事項			(控え頁) 10/14				

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現 行																																																																																																					
現	行	改	正																																																																																																				
備 考																																																																																																							
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 プレキャストボックスブロック設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフレレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世帯役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td rowspan="3">Z 1</td> <td>分岐枠 450×500×900</td> <td>ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kg以下の場合</td> </tr> <tr> <td>分岐枠 550×800×1,200</td> <td>ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kgを超え4,000 kg以下の場合</td> </tr> <tr> <td>U型ボックス通信II型 1200×1000×3,000</td> <td>ボックスブロック 1個当り質量が4,000 kgを超え11,000 kg以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフレレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世帯役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	分岐枠 450×500×900	ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kg以下の場合	分岐枠 550×800×1,200	ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kgを超え4,000 kg以下の場合	U型ボックス通信II型 1200×1000×3,000	ボックスブロック 1個当り質量が4,000 kgを超え11,000 kg以下の場合	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 プレキャストボックスブロック設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフレレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値・2014年規制)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世帯役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td rowspan="3">Z 1</td> <td>分岐枠 450×500×900</td> <td>ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kg以下の場合</td> </tr> <tr> <td>分岐枠 550×800×1,200</td> <td>ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kgを超え4,000 kg以下の場合</td> </tr> <tr> <td>U型ボックス通信II型 1200×1000×3,000</td> <td>ボックスブロック 1個当り質量が4,000 kgを超え11,000 kg以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-12 蓋設置 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.14 蓋設置 積算条件区分一覧 (積算単位:組)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>蓋1組当り質量</td> </tr> <tr> <td>200 kg以下</td> </tr> <tr> <td>200 kgを超え800 kg以下</td> </tr> <tr> <td>800 kgを超え2,000 kg以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、蓋の設置、調整リング及び受枠の設置等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、蓋の材料費は含まない。 2. 上表は、蓋部と受枠が分割された製品、一体となった製品どちらにも適用できる。 ※3. 蓋1組当り質量は、蓋部・調整リング及び受枠も含めた1組当り質量を計上する。 ※4. 蓋の材料費は別途計上する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>(蓋参考図)</p> </div>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフレレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値・2014年規制)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世帯役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	分岐枠 450×500×900	ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kg以下の場合	分岐枠 550×800×1,200	ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kgを超え4,000 kg以下の場合	U型ボックス通信II型 1200×1000×3,000	ボックスブロック 1個当り質量が4,000 kgを超え11,000 kg以下の場合	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		蓋1組当り質量	200 kg以下	200 kgを超え800 kg以下	800 kgを超え2,000 kg以下	<p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p>	<p style="text-align: center;">記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																				
機械	K 1	ラフレレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																					
	K 3	—																																																																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																																																																					
	R 2	土木一般世帯役																																																																																																					
	R 3	特殊作業員																																																																																																					
	R 4	—																																																																																																					
材料	Z 1	分岐枠 450×500×900	ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kg以下の場合																																																																																																				
		分岐枠 550×800×1,200	ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kgを超え4,000 kg以下の場合																																																																																																				
		U型ボックス通信II型 1200×1000×3,000	ボックスブロック 1個当り質量が4,000 kgを超え11,000 kg以下の場合																																																																																																				
	Z 2	—																																																																																																					
	Z 3	—																																																																																																					
	Z 4	—																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																					
項目	代表機材規格		備考																																																																																																				
機械	K 1	ラフレレンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値・2014年規制)] 25t 吊	賃料																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																					
	K 3	—																																																																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																																																																					
	R 2	土木一般世帯役																																																																																																					
	R 3	特殊作業員																																																																																																					
	R 4	—																																																																																																					
材料	Z 1	分岐枠 450×500×900	ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kg以下の場合																																																																																																				
		分岐枠 550×800×1,200	ボックスブロック 1個当り質量が1,000 kgを超え4,000 kg以下の場合																																																																																																				
		U型ボックス通信II型 1200×1000×3,000	ボックスブロック 1個当り質量が4,000 kgを超え11,000 kg以下の場合																																																																																																				
	Z 2	—																																																																																																					
	Z 3	—																																																																																																					
	Z 4	—																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																					
蓋1組当り質量																																																																																																							
200 kg以下																																																																																																							
200 kgを超え800 kg以下																																																																																																							
800 kgを超え2,000 kg以下																																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 11/14																																																																																																				

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																												
	<p>現 行</p> <p>3-12 蓋設置 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.14 蓋設置 積算条件区分一覧 (積算単位：組)</p> <table border="1"> <tr><td>蓋1組当り質量</td></tr> <tr><td>200kg以下</td></tr> <tr><td>200kgを超え800kg以下</td></tr> <tr><td>800kgを超え2,000kg以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、蓋の設置、調整リング及び受枠の設置等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、蓋の材料費は含まない。 2. 蓋1組当り質量は、蓋部、調整リング及び受枠も含めた1組当り質量を計上する。 3. 蓋の材料費は別途計上する。</p>  <p>(蓋参考図)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.15 蓋設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-13 蓋(材料費) (1) 条件区分 蓋(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、組とする。</p> <p>IV-1-②-14</p>	蓋1組当り質量	200kg以下	200kgを超え800kg以下	800kgを超え2,000kg以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t	賃料	K 2	—	—	K 3	—	—	労務	R 1	普通作業員	—	R 2	運転手(特殊)	—	R 3	土木一般世話役	—	R 4	特殊作業員	—	材料	Z 1	軽油 バトロール給油	—	Z 2	—	—	Z 3	—	—	Z 4	—	—	市場単価	S	—	—	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>前頁に移動</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.15 蓋設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値2014年規制)】山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力1.7t ラフテレーンクレーン【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)】25t吊</td> <td>賃料 200kg以下、200kgを超え800kg以下の場合 賃料 800kgを超え2,000kg以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>記載の修正・削除(歩掛改定に伴う)</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値2014年規制)】山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t ラフテレーンクレーン【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)】25t吊	賃料 200kg以下、200kgを超え800kg以下の場合 賃料 800kgを超え2,000kg以下の場合	K 2	—	—	K 3	—	—	労務	R 1	普通作業員	—	R 2	運転手(特殊)	—	R 3	土木一般世話役	—	R 4	特殊作業員	—	材料	Z 1	軽油 バトロール給油	—	Z 2	—	—	Z 3	—	—	Z 4	—	—	市場単価	S	—	—	
蓋1組当り質量																																																																																															
200kg以下																																																																																															
200kgを超え800kg以下																																																																																															
800kgを超え2,000kg以下																																																																																															
項目	代表機材規格		備考																																																																																												
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t	賃料																																																																																												
	K 2	—	—																																																																																												
	K 3	—	—																																																																																												
労務	R 1	普通作業員	—																																																																																												
	R 2	運転手(特殊)	—																																																																																												
	R 3	土木一般世話役	—																																																																																												
	R 4	特殊作業員	—																																																																																												
材料	Z 1	軽油 バトロール給油	—																																																																																												
	Z 2	—	—																																																																																												
	Z 3	—	—																																																																																												
	Z 4	—	—																																																																																												
市場単価	S	—	—																																																																																												
項目	代表機材規格		備考																																																																																												
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値2014年規制)】山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t ラフテレーンクレーン【油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)】25t吊	賃料 200kg以下、200kgを超え800kg以下の場合 賃料 800kgを超え2,000kg以下の場合																																																																																												
	K 2	—	—																																																																																												
	K 3	—	—																																																																																												
労務	R 1	普通作業員	—																																																																																												
	R 2	運転手(特殊)	—																																																																																												
	R 3	土木一般世話役	—																																																																																												
	R 4	特殊作業員	—																																																																																												
材料	Z 1	軽油 バトロール給油	—																																																																																												
	Z 2	—	—																																																																																												
	Z 3	—	—																																																																																												
	Z 4	—	—																																																																																												
市場単価	S	—	—																																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 12/14																																																																																												

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現 行																																																					
現	行	改	正																																																				
<p>4. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 舗装版破砕積込</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">パッケージコード</td> <td style="width: 15%;">CB440500</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 10%;">m2</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 破砕後のアスファルト塊の運搬は、運搬（電線共同溝）(CB440510) で別途計上する。 2. アスファルト塊の処分費については「第1編第14章その他①材料単価入力基準表 (WB020051)」にて別途計上すること。</p> <p>(2) 床掘り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">パッケージコード</td> <td style="width: 15%;">CB440410</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 10%;">m3</td> </tr> </table> <p>(注) 上表の土量は、地山土量である。</p> <p>(3) 埋戻し・締固め</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">パッケージコード</td> <td style="width: 15%;">CB440420</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 10%;">m3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施工区分</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">各 種</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">土 質</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">①土 砂 ②中埋砂</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表の施工量は、締固め後の土量である。 2. J 1条件で②を選択した場合は、中埋砂単価 (Y-0240000) [円/m3] を単価登録すること。なお、ほぐした土量1m3 当りの単価を登録すること。 3. 本コードは、中埋砂の材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 4. 水締施工に用いる水に、水代が必要な場合は別途計上する。</p>		パッケージコード	CB440500	施工単位	m2	パッケージコード	CB440410	施工単位	m3	パッケージコード	CB440420	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1			土 質			①土 砂 ②中埋砂			<p>4. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 舗装版破砕積込 (電線共同溝工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">パッケージコード</td> <td style="width: 15%;">CB440500</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 10%;">m2</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 破砕後のアスファルト塊の運搬は、運搬（電線共同溝工）(CB440510) で別途計上する。 2. アスファルト塊の処分費については「第1編第14章その他①材料単価入力基準表 (WB020051)」にて別途計上すること。</p> <p>(2) 床掘り (電線共同溝工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">パッケージコード</td> <td style="width: 15%;">CB440410</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 10%;">m3</td> </tr> </table> <p>(注) 上表の土量は、地山土量である。</p> <p>(3) 埋戻し・締固め (電線共同溝工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">パッケージコード</td> <td style="width: 15%;">CB440420</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 10%;">m3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施工区分</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">各 種</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">土 質</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">①上 砂 ②中埋砂</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表の施工量は、締固め後の土量である。 2. J 1条件で②を選択した場合は、中埋砂単価 (Y-0240000) [円/m3] を単価登録すること。なお、ほぐした土量1m3 当りの単価を登録すること。 3. 本コードは、中埋砂の材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 4. 水締施工に用いる水に、水代が必要な場合は別途計上する。</p>	パッケージコード	CB440500	施工単位	m2	パッケージコード	CB440410	施工単位	m3	パッケージコード	CB440420	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1			土 質			①上 砂 ②中埋砂			記載の変更
パッケージコード	CB440500	施工単位	m2																																																				
パッケージコード	CB440410	施工単位	m3																																																				
パッケージコード	CB440420	施工単位	m3																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																						
各 種	J 1																																																						
	土 質																																																						
	①土 砂 ②中埋砂																																																						
パッケージコード	CB440500	施工単位	m2																																																				
パッケージコード	CB440410	施工単位	m3																																																				
パッケージコード	CB440420	施工単位	m3																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																						
各 種	J 1																																																						
	土 質																																																						
	①上 砂 ②中埋砂																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 13/14																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																						
現 行		改 正																																																																																																						
<p>(4) 運搬 (電線共同溝)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440510</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3~4</td> </tr> <tr> <td>積載区分</td> <td>DID区間の有無</td> <td>運搬距離</td> </tr> <tr> <td>①土砂 ②アスファルト塊</td> <td>①無 ②有</td> <td>(表4.1)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 施工数量は、土砂においては地山土量とし、アスファルト塊においては舗装版破砕前の体積とする。 2. 土砂及びアスファルト塊の処分が必要な場合は、「第I編第14章その他①材料単価入力基準表 (WB020051)」にて別途計上すること。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 運搬距離</p> <table border="1"> <tr> <td>発 生 作 業</td> <td colspan="7">舗装版破砕積込み、灰押り土砂積込み</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">J 3 (DID区間：無し)</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.5 以下</td> <td>2.0 以下</td> <td>3.5 以下</td> <td>6.5 以下</td> <td>11.5 以下</td> <td>26.5 以下</td> <td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>番 号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">J 4 (DID区間：有り)</td> </tr> <tr> <td>運搬距離 (km)</td> <td>0.5 以下</td> <td>2.0 以下</td> <td>3.5 以下</td> <td>6.0 以下</td> <td>10.5 以下</td> <td>22.5 以下</td> <td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>番 号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> </tr> </table> <p>(注) 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。</p> <p>(5) 軽量鋼矢板設置・撤去</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440480</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 施工数量は、矢板設置総延長とする。 2. 軽量鋼矢板等に関する賃料等は別途計上する。</p> <p>(6) 覆工板設置・撤去</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440490</td> <td>施工単位</td> <td>m2</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 施工数量は、工事中の延べ設置・撤去面積とする。 2. 覆工板賃料は「第II編第5章⑥仮設材設置撤去工」(WB251920)により別途計上する。</p>		パッケージコード	CB440510	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3~4	積載区分	DID区間の有無	運搬距離	①土砂 ②アスファルト塊	①無 ②有	(表4.1)	発 生 作 業	舗装版破砕積込み、灰押り土砂積込み								J 3 (DID区間：無し)							運搬距離 (km)	0.5 以下	2.0 以下	3.5 以下	6.5 以下	11.5 以下	26.5 以下	60.0 以下	番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		J 4 (DID区間：有り)							運搬距離 (km)	0.5 以下	2.0 以下	3.5 以下	6.0 以下	10.5 以下	22.5 以下	60.0 以下	番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	パッケージコード	CB440480	施工単位	m	パッケージコード	CB440490	施工単位	m2	<p>(4) 運搬 (電線共同溝工)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440510</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3~4</td> </tr> <tr> <td>積載区分</td> <td>DID区間の有無</td> <td>運搬距離</td> </tr> <tr> <td>①土砂 ②アスファルト塊</td> <td>①無 ②有</td> <td>(表4.1)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		パッケージコード	CB440510	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3~4	積載区分	DID区間の有無	運搬距離	①土砂 ②アスファルト塊	①無 ②有	(表4.1)	記載の変更
パッケージコード	CB440510	施工単位	m3																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3~4																																																																																																					
	積載区分	DID区間の有無	運搬距離																																																																																																					
	①土砂 ②アスファルト塊	①無 ②有	(表4.1)																																																																																																					
発 生 作 業	舗装版破砕積込み、灰押り土砂積込み																																																																																																							
	J 3 (DID区間：無し)																																																																																																							
運搬距離 (km)	0.5 以下	2.0 以下	3.5 以下	6.5 以下	11.5 以下	26.5 以下	60.0 以下																																																																																																	
番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦																																																																																																	
	J 4 (DID区間：有り)																																																																																																							
運搬距離 (km)	0.5 以下	2.0 以下	3.5 以下	6.0 以下	10.5 以下	22.5 以下	60.0 以下																																																																																																	
番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦																																																																																																	
パッケージコード	CB440480	施工単位	m																																																																																																					
パッケージコード	CB440490	施工単位	m2																																																																																																					
パッケージコード	CB440510	施工単位	m3																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3~4																																																																																																					
	積載区分	DID区間の有無	運搬距離																																																																																																					
	①土砂 ②アスファルト塊	①無 ②有	(表4.1)																																																																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 14/14																																																																																																					

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考
現	行	改 正	備 考
<p>③ 情報ボックス工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、情報ボックスの設置工事に適用する。ただし、河川堤防に設置する情報管路は適用外とする。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 舗装版破砕 (1) バックホウによる舗装厚さ15cm以下のアスファルト舗装版破砕積込作業の場合</p> <p>1-1-2 床掘り (1) 基面整正を含む床掘り作業の場合</p> <p>1-1-3 埋戻し (1) 埋設表示シートの設置を含む埋戻し・締固め作業の場合</p> <p>1-1-4 基礎材 (1) 基礎材の厚さが20cm以下の場合</p> <p>1-1-5 埋設部管路材設置 (1) 埋設部における管路材の設置作業の場合</p> <p>1-1-6 露出部管路材設置 (1) トンネル部を除く露出部における本体管及びさや管の設置作業の場合</p> <p>1-1-7 ハンドホール (1) ハンドホール設置(支持金具、蓋、固定板の設置を含む)の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 埋戻し (1) 埋戻しにコンクリートを使用する場合</p>		<p>③ 情報ボックス工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、情報ボックスの設置工事に適用する。ただし、河川堤防に設置する情報管路は適用外とする。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 舗装版破砕 (情報ボックス工) (1) バックホウによる舗装厚さ15cm以下のアスファルト舗装版破砕積込作業の場合</p> <p>1-1-2 床掘り (情報ボックス工) (1) 基面整正を含む床掘り作業の場合</p> <p>1-1-3 埋戻し (情報ボックス工) (1) 埋設表示シートの設置を含む埋戻し・締固め作業の場合</p> <p>1-1-4 基礎材 (1) 基礎材の厚さが20cm以下の場合</p> <p>1-1-5 埋設部管路材設置 (1) 埋設部における管路材の設置作業の場合</p> <p>1-1-6 露出部管路材設置 (1) トンネル部を除く露出部における本体管及びさや管の設置作業の場合</p> <p>1-1-7 ハンドホール (1) ハンドホール設置(支持金具、蓋、固定板の設置を含む)の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 埋戻し (情報ボックス工) (1) 埋戻しにコンクリートを使用する場合</p>	<p>記載の変更</p>
IV-4-③-1			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4

改正理由	一部改正	改正 現 行																																																																																																																																																																																
現	行	改 正	備 考																																																																																																																																																																															
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 舗装版破砕</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>舗装版破砕に積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 舗装厚さ15cm以下のアスファルト舗装版破砕積込作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. バックホウによる舗装厚さ15cm以下のアスファルト舗装版破砕積込作業以外の場合は、「第IV編第3章②舗装版破砕工」による。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 舗装版破砕 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m³（平積0.35m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世帯役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 床掘り</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>床掘りに積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m³とする。</p> <p>(注) 床掘作業及び基面整正の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 床掘り 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m³（平積0.35m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世帯役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世帯役		R 3	運転手（特殊）		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世帯役		R 3	運転手（特殊）		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 舗装版破砕 （情報ボックス工）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>舗装版破砕 （情報ボックス工）に積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 舗装厚さ15cm以下のアスファルト舗装版破砕積込作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. バックホウによる舗装厚さ15cm以下のアスファルト舗装版破砕積込作業以外の場合は、「第IV編第3章②舗装版破砕工」による。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 舗装版破砕（情報ボックス工） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m³（平積0.35m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世帯役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 床掘り （情報ボックス工）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>床掘り （情報ボックス工）に積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m³とする。</p> <p>(注) 床掘作業及び基面整正の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 床掘り（情報ボックス工） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m³（平積0.35m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世帯役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世帯役		R 3	運転手（特殊）		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世帯役		R 3	運転手（特殊）		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の変更
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																																															
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	賃料																																																																																																																																																																															
	K 2	—																																																																																																																																																																																
	K 3	—																																																																																																																																																																																
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																
	R 2	土木一般世帯役																																																																																																																																																																																
	R 3	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																
	R 4	—																																																																																																																																																																																
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																
	Z 2	—																																																																																																																																																																																
	Z 3	—																																																																																																																																																																																
	Z 4	—																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																																															
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	賃料																																																																																																																																																																															
	K 2	—																																																																																																																																																																																
	K 3	—																																																																																																																																																																																
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																
	R 2	土木一般世帯役																																																																																																																																																																																
	R 3	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																
	R 4	—																																																																																																																																																																																
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																
	Z 2	—																																																																																																																																																																																
	Z 3	—																																																																																																																																																																																
	Z 4	—																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																																															
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	賃料																																																																																																																																																																															
	K 2	—																																																																																																																																																																																
	K 3	—																																																																																																																																																																																
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																
	R 2	土木一般世帯役																																																																																																																																																																																
	R 3	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																
	R 4	—																																																																																																																																																																																
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																
	Z 2	—																																																																																																																																																																																
	Z 3	—																																																																																																																																																																																
	Z 4	—																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																																															
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	賃料																																																																																																																																																																															
	K 2	—																																																																																																																																																																																
	K 3	—																																																																																																																																																																																
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																
	R 2	土木一般世帯役																																																																																																																																																																																
	R 3	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																
	R 4	—																																																																																																																																																																																
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																
	Z 2	—																																																																																																																																																																																
	Z 3	—																																																																																																																																																																																
	Z 4	—																																																																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																
IV-I-③-3																																																																																																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																																																																																																																																																																															

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																						
現	行	改	正																																																																					
		備考																																																																						
<p>3-3 埋戻し (1) 条件区分 埋戻しに積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 (注) 1. 埋戻し・締固め、埋設表示シートの設置作業の他、締固め機械の損料・運搬経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、中埋材（材料費）及び埋設表示シート（材料費）は含まない。 2. 埋戻しに砂を使う場合の砂材料費は、別途計上する。 3. 埋設表示シートの材料費は、別途計上する。 4. 水締めにおける用水に関する経費が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.3 埋戻し 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.45m³（平積 0.35m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 中埋材（材料費） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.4 中埋材 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</caption> <thead> <tr> <th>中埋材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入土</td> </tr> <tr> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>砕石</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 中埋材の数量は必要量とする。</p> <p>3-5 埋設表示シート（材料費） (1) 条件区分 埋設表示シート（材料費）に積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 埋設表示シートのロス率は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.5 ロス率(K)</caption> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>埋設表示シート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-I-③-1</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手（特殊）		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		中埋材料	購入土	砂	砕石	材料名	埋設表示シート	ロス率	+0.02	<p>3-3 埋戻し（情報ボックス工） (1) 条件区分 埋戻し（情報ボックス工）に積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。 (注) 1. 埋戻し・締固め、埋設表示シートの設置作業の他、締固め機械の損料・運搬経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、中埋材（材料費）及び埋設表示シート（材料費）は含まない。 2. 埋戻しに砂を使う場合の砂材料費は、別途計上する。 3. 埋設表示シートの材料費は、別途計上する。 4. 水締めにおける用水に関する経費が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.3 埋戻し（情報ボックス工） 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.45m³（平積 0.35m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手（特殊）		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>記載の変更</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																						
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）	賃料																																																																						
	K 2 -																																																																							
	K 3 -																																																																							
労務	R 1 普通作業員																																																																							
	R 2 土木一般世話役																																																																							
	R 3 特殊作業員																																																																							
	R 4 運転手（特殊）																																																																							
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																							
	Z 2 -																																																																							
	Z 3 -																																																																							
	Z 4 -																																																																							
市場単価	S -																																																																							
中埋材料																																																																								
購入土																																																																								
砂																																																																								
砕石																																																																								
材料名	埋設表示シート																																																																							
ロス率	+0.02																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																						
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）	賃料																																																																						
	K 2 -																																																																							
	K 3 -																																																																							
労務	R 1 普通作業員																																																																							
	R 2 土木一般世話役																																																																							
	R 3 特殊作業員																																																																							
	R 4 運転手（特殊）																																																																							
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																							
	Z 2 -																																																																							
	Z 3 -																																																																							
	Z 4 -																																																																							
市場単価	S -																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行																																																										
現 行		改 正																																																										
<p>4. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 舗装版破砕</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440820</td> <td>施工単位</td> <td>m2</td> </tr> </table> <p>(2) 床掘り</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440710</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> </table> <p>(3) 埋戻し</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440720</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、埋戻しにコンクリートを使用する場合は適用出来ない。 2. 本コードは、締固め工法にかかわらず適用出来る。ただし、水締めにおける用水の費用は別途計上する。</p> <p>(4) 中埋材 (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440730</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td colspan="3">中埋材料</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">①購入土</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">②砂</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">③砕石</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1 条件で選択した材料 (購入土単価 (Y-1613000) [円/m3], 砂単価 (Y-0240000) [円/m3], 砕石単価 (Y-0241000) [円/m3]) を単価登録すること。 2. 数量は必要量を入力すること。</p> <p>(5) 埋設表示シート (材料費)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440830</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 埋設表示シート単価 (Y-3563000) [円/m] を単価登録すること。 2. 本コードは、埋設表示シートの材料ロスを含む。</p>		パッケージコード	CB440820	施工単位	m2	パッケージコード	CB440710	施工単位	m3	パッケージコード	CB440720	施工単位	m3	パッケージコード	CB440730	施工単位	m3	施工区分	入 力 条 件				J 1			各 種	中埋材料				①購入土				②砂				③砕石			パッケージコード	CB440830	施工単位	m	<p>4. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 舗装版破砕 (情報ボックス工)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440820</td> <td>施工単位</td> <td>m2</td> </tr> </table> <p>(2) 床掘り (情報ボックス工)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440710</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> </table> <p>(3) 埋戻し (情報ボックス工)</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB440720</td> <td>施工単位</td> <td>m3</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、埋戻し (情報ボックス工) にコンクリートを使用する場合は適用出来ない。 2. 本コードは、締固め工法にかかわらず適用出来る。ただし、水締めにおける用水の費用は別途計上する。</p>		パッケージコード	CB440820	施工単位	m2	パッケージコード	CB440710	施工単位	m3	パッケージコード	CB440720	施工単位	m3	備考
パッケージコード	CB440820	施工単位	m2																																																									
パッケージコード	CB440710	施工単位	m3																																																									
パッケージコード	CB440720	施工単位	m3																																																									
パッケージコード	CB440730	施工単位	m3																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																											
	J 1																																																											
各 種	中埋材料																																																											
	①購入土																																																											
	②砂																																																											
	③砕石																																																											
パッケージコード	CB440830	施工単位	m																																																									
パッケージコード	CB440820	施工単位	m2																																																									
パッケージコード	CB440710	施工単位	m3																																																									
パッケージコード	CB440720	施工単位	m3																																																									
積算上の注意事項		(控え頁) 4/4																																																										



現行どおり

記載の変更

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3-7-2 機械損料の補正等
トンネル掘削工において、トンネル専用機ではないホイールローダ・バックホウ（大型ブレイカ用ベームマシン含む）、トンネル専用機及び建設専用は除くダンプトラックを使用する場合は機械損料の補正を行うものとし、トンネルの岩区分による補正割増しは、次表を標準とする。

表3.6 機械損料の補正

岩 区 分	機械損料割増	岩 分 類
C I・C II	25%	中硬岩
D I	25%	軟岩(II)
D II	25%	軟岩(II)
	—	軟岩(I)
D III	—	

(注) 1. 土量変化率は、「第II編第1章①土量変化率等」による。
2. トンネル内における機械損料の割増しは上表のとおりとし、掘削土仮置き以降の機械損料の割増については、「第II編第1章土工①土量変化率等」による。
3. 岩区分D IIの岩分類の判定にあたっては、岩の性状により決定するものとする。

3-7-3 機械賃料の補正等
トンネル工事対応の下記機械を使用する場合は、次表に示す数値を乗じて得た額とする。

表3.7 機械賃料の補正

機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	摘 要
振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型 ・運転質量3～4t	1.23	賃料

3-8 工事用仮設備
3-8-1 吹付プラント設備
吹付プラント設備の機種・規格は、次表を標準とする。

表3.8 機種の選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量
セメントサイロ	〔鋼製溶接構造〕容量30t 排出力20t/h	基	1
骨材ホッパー	15m ³ ×3	#	1
コンクリートプラント	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (一括練混ぜ方式)	#	1
#	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (分割練混ぜ方式)	#	1

(注) 1. 吹付プラント設備は、坑外に設置する。
2. 現場条件等により適合しない場合は、現場条件に見合った機種・規格を別途考慮する。
3. セメントサイロ、骨材ホッパー、コンクリートプラントは、損料とする。
コンクリートプラントの損料は、練混ぜ方式(一括または分割)に対応したものを選定すること。

3-8-2 電力設備
(1) 施工に必要な負荷設備に対応出来る必要電力を決定する。
(2) 電力会社の供給設備を調査し、負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。
(3) 受電設備、変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。

3-8-3 照明設備
坑内照明は、40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するものを標準とする。また、切羽照明は500W蛍光灯とし、切羽部6個(上半4個、下半2個)、覆工4個を標準とする。
坑内照明、切羽照明の計上は、日当り17時間を標準とする。

IV-5-①-16

現行どおり

3-7-3 機械賃料の補正等
トンネル工事対応の下記機械を使用する場合は、次表に示す数値を乗じて得た額とする。

表3.7 機械賃料の補正

機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	摘 要
振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型 ・運転質量3～4t	1.23 1.29	賃料

現行どおり

記載の変更

積算上の注意事項			(控え頁) 1/10
----------	--	--	---------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

(25) 給水設備運転1日当り単価表

名 称	規 格	単 位	施 工 歩 掛 コー ド	WB450280	数 量	摘 要
電 力 料		kWh				
小型多段遠心ポンプ	片吸込・モータ駆動型 口径65mm 段数4 全揚程45m	台・日			1	表3.9
水 槽	鋼板製簡易水槽 20 m ³	供用日			1.4	〃
諸 雑 費		式			1	
計						

(注) 水槽の供用日数は次式により求める。 供用日数=運転日数×供用日数率 【供用日数率=1.4】

(26) 排水設備運転1日当り単価表

名 称	規 格	単 位	施 工 歩 掛 コー ド	WB450290	数 量	摘 要
電 力 料		kWh				
工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ	普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m	台・日			4	表3.10
諸 雑 費		式			1	
計						

(27) 吹付プラント設備運転1日当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
電 力 料		kWh		
コ ン ク リ ー ト プ ラ ン ト	(バッチ型・定置式)25 m ³ /h	供用 日		表3.8
セ メ ン ト サ イ ロ	[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h	〃		〃
骨 材 ホ ッ パ	15 m ³ ×3	〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) コンクリートプラント損料は、練混ぜ方式(一括または分割)に対応したものを選定すること。

(25) 給水設備運転1日当り単価表

名 称	規 格	単 位	施 工 歩 掛 コー ド	WB450280	数 量	摘 要
電 力 料		kWh				
小型多段遠心ポンプ	片吸込・モータ駆動型 口径65mm 段数4 全揚程45m	台・日			1	表3.9
水 槽	鋼板製簡易水槽 20 m ³	供用日			1.41	〃
諸 雑 費		式			1	
計						

(注) 水槽の供用日数は次式により求める。 供用日数=運転日数×供用日数率 【供用日数率=1.41】

現行どおり

積算上の注意事項		(控え頁) 2/10
----------	--	---------------

工 種	トンネル工(発破工法)
-----	-------------

改 正 理 由	一部改正	改 正	備 考
		現 行	

現 行				改 正				備 考
(28) 機械運転単価表				(28) 機械運転単価表				
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	
ドリルジャンボ	トンネル工専用ホイール式・排出ガス対策型(第3次基準値) 3ブーム・2バスケット ドリフタ質量170kg超級	機-25	燃料消費量 →544 機械損料数量→ 1.40	ドリルジャンボ	トンネル工専用ホイール式・排出ガス対策型(第3次基準値) 3ブーム・2バスケット ドリフタ質量170kg超級	機-25	燃料消費量 →544 機械損料数量→ 1.40 1.41	
コンクリート吹付機	トンネル工専用 湿式吹付・R一体・C搭載・エレクトラ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 吹付範囲半径7m級 ・吐出量6~22m ³ /h級	機-25	燃料消費量 →363 機械損料数量→ 1.40	コンクリート吹付機	トンネル工専用 湿式吹付・R一体・C搭載・エレクトラ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 吹付範囲半径7m級 ・吐出量6~22m ³ /h級	機-25	燃料消費量 →363 機械損料数量→ 1.40 1.41	
ホイールローダ	トンネル専用機 サイドダンプ式・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積2.3m級	機-24	燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.40	ホイールローダ	トンネル専用機 サイドダンプ式・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積2.3m級	機-24	燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.40 1.41	
吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (一括練混ぜ)	機-25	燃料消費量 → 24 機械損料数量→ 1.40	吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (一括練混ぜ)	機-25	燃料消費量 → 24 機械損料数量→ 1.40 1.41	
吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (分割練混ぜ)	機-25	燃料消費量 → 18 機械損料数量→ 1.40	吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (分割練混ぜ)	機-25	燃料消費量 → 18 機械損料数量→ 1.40 1.41	
大型プレーカ (ベースマシン含む)	トンネル工専用排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧式1,300kg級 ベースマシン20t級	機-12	燃料消費量 → 45	大型プレーカ (ベースマシン含む)	トンネル工専用排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧式1,300kg級 ベースマシン20t級	機-12	燃料消費量 → 45	
ダンプトラック	トンネル工専用オンロード型 10t積	機-32	燃料消費量 → 70 タイヤの損耗費も計上	ダンプトラック	トンネル工専用オンロード型 10t積	機-32	燃料消費量 → 70 タイヤの損耗費も計上	
コンクリートポンプ車	配管式圧送能力55m ³ /h	機-24	燃料消費量 → 58 機械損料数量→ 1.40	コンクリートポンプ車	配管式圧送能力55m ³ /h	機-24	燃料消費量 → 58 機械損料数量→ 1.40 1.41	
集 塵 機	ブーム式圧送能力90~110m ³ /h 定格風量○○○m ³ /min級	機-13	インバートコンクリート工	集 塵 機	ブーム式圧送能力90~110m ³ /h 定格風量○○○m ³ /min級	機-13	インバートコンクリート工	
バ ッ ク ホ ウ	トンネル工専用後方超小旋回型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-13	インバート掘削工 インバート埋戻工	バ ッ ク ホ ウ	トンネル工専用後方超小旋回型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-13	インバート掘削工 インバート埋戻工	
〃	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)・超低騒音型・クローラ型・山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1	インバート埋戻し材積込作業	〃	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)・超低騒音型・クローラ型・山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1	インバート埋戻し材積込作業	
振 動 ロ ー ラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンパインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転質量3~4t	機-16	燃料消費量 → 14 機械賃料数量 → 1.70	振 動 ロ ー ラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンパインド式・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転質量3~4t	機-16	燃料消費量 → 14 機械賃料数量 → 1.70	
ダンプトラック	トンネル工専用オンロード型 10t積	機-13	インバート用 タイヤの損耗費も計上	ダンプトラック	トンネル工専用オンロード型 10t積	機-13	インバート用 タイヤの損耗費も計上	

IV-5-①-69

積算上の注意事項	(控え頁)
	3/10

改正理由	一部改正	現 行	改 正	備 考																																																																																																																																																																																																	
			現 行																																																																																																																																																																																																		
	現 行		改 正																																																																																																																																																																																																		
	<p>6. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 掘削工等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB452010</th> <th colspan="2">施工単位</th> <th colspan="2">m</th> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="6">入 力 条 件</th> </tr> <tr> <th>種 別</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>支保構造区分</td> <td>岩区分</td> <td>加背区分</td> <td>設計掘削断面積</td> <td>ずり出し運搬距離</td> <td>セメントの種類</td> </tr> <tr> <td>①通常断面 ②大断面</td> <td>(表 6.1)</td> <td>(表 6.2)</td> <td>(表 6.3)</td> <td>①L = 1.2 km 以下 ②L = 1.2 km 超え</td> <td>(表 6.4)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ロックボルト1m当りの本数の増減の有無</td> <td>ロックボルト1m当りの増減本数(実数入力)</td> <td>先受けボルトの有無</td> <td>先受けボルトの規格</td> <td>先受けボルト1m当りの本数の増減の有無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①無 ②有</td> <td></td> <td>①無 ②有</td> <td>(表 6.5)</td> <td>①無 ②有</td> <td>(表 6.6)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>先受けボルト1m当りの増減本数(実数入力)</td> <td>注入急結剤使用の有無</td> <td>注入急結剤1m当りの本数</td> <td>切羽監視責任者の有無</td> <td>鏡吹付工の有無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td>(実数入力)</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>吹付プラント設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①一括設置 ②分割設置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. J 2条件で①、②を選択した場合は、J 3条件は①で固定される。 また、J 2条件で③～⑥を選択した場合は、J 3条件で②又は③を入力すること。 2. J 1条件で①を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。 J 1条件で①を選択し、J 2条件で③～⑥を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。なお、J 3条件で③～⑥を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。 3. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。 J 1条件で②を選択し、J 2条件で③～⑥を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。なお、J 3条件で③～⑥を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。 4. J 2条件で①～④を選択した場合はJ 9～J 12条件を選択する必要はない。 また、J 2条件で⑤を選択し、J 3条件で③を選択した場合は、J 9～J 12条件を選択する必要はない。 5. J 3条件で③を選択した場合は、J 5条件を入力する必要はない。 また、J 3条件で①、②を選択し、かつ、J 5条件で②を選択した場合、掘削等施工歩掛においてトンネル特殊工の施工歩掛を1m当りとしてJ 7の値が追加される。 6. 吹付コンクリート仕振は標準仕振としている。なお、急結剤(Y=0233000) [円/kg]を単価登録すること。 7. J 6条件で②を選択した場合は、セメント(各種)(Y=0200000) [円/t]を単価登録すること。 8. ロックボルトの使用量が表 4.42～44、46～48の値と一致しない場合は、J 7条件で②を選択し、J 8条件に1m当りの増減本数を実数入力すること。 なお、J 7条件で①を選択した場合は、J 8条件を入力する必要はない。 9. J 8条件の実数入力については、小数第3位を四捨五入し、第2位で入力すること。 10. J 9条件で①を選択した場合は、J 10～J 12条件を選択する必要はない。 11. J 9条件かつJ 10条件で②を選択した場合は、先受けボルト(Y=0117000) [円/本]を単価登録すること。 12. 先受けボルトの使用量が表 4.45または表 4.49の値と一致しない場合は、J 11条件で②を選択し、J 12条件で1m当りの増減本数を実数入力すること。 なお、J 11条件で①を選択した場合は、J 12条件を入力する必要はない。 13. ロックボルト施工時に湧水等がある場合で注入急結剤を使用する場合は、J 13条件で②を入力すること。ただし、1本/孔を標準とする。なお、J 13条件で②を選択した場合は、注入急結剤(無収縮混和剤)(Y=1634101) [円/本]を単価登録すること。 14. J 13条件で②を選択した場合は、J 14条件で実数入力(小数第3位を四捨五入し、第2位)すること。 15. J 16条件で①を選択した場合は、諸雑費(その他機械)、諸雑費(その他材料)のみが計上される。 16. J 16条件で②を選択した場合は、諸雑費(その他機械)に加えて鏡吹付施工機械費、諸雑費(その他材料)に加えて鏡吹付材料費が計上される。 17. 火薬(含水燐薬スラリー200g) (Y=1680000) [円/kg]、電気雷管(DS段発2～5段)(Y=1681100) [円/個]及び電気雷管(DS段発6～10段)(Y=1681101) [円/個]、電力線(Y=7500000) [円/kWh]を単価登録すること。ただし、J 3条件で③を選択した場合には、電気雷管(DS段発6～10段)(Y=1681101) [円/個]の単価登録の必要はない。 18. 労務単価は、第1編第2章①直接工事費3 労務費の(例-1)の場合を想定し、労務単価の補正において、労務費調整係数(1.063)を入力すること。ただし、(例-2)や(例-3)など所定労働時間を超える作業を計画する場合等については、作業計画に応じて労務費調整係数等を計算し、労務単価の補正において、労務費調整係数等を入力すること。</p>	施工歩掛コード	WB452010		施工単位		m		施工区分	入 力 条 件						種 別	1	2	3	4	5	6	各 種	支保構造区分	岩区分	加背区分	設計掘削断面積	ずり出し運搬距離	セメントの種類	①通常断面 ②大断面	(表 6.1)	(表 6.2)	(表 6.3)	①L = 1.2 km 以下 ②L = 1.2 km 超え	(表 6.4)		7	8	9	10	11			ロックボルト1m当りの本数の増減の有無	ロックボルト1m当りの増減本数(実数入力)	先受けボルトの有無	先受けボルトの規格	先受けボルト1m当りの本数の増減の有無			①無 ②有		①無 ②有	(表 6.5)	①無 ②有	(表 6.6)		12	13	14	15	16			先受けボルト1m当りの増減本数(実数入力)	注入急結剤使用の有無	注入急結剤1m当りの本数	切羽監視責任者の有無	鏡吹付工の有無			①無 ②有	①無 ②有	(実数入力)	①無 ②有	①無 ②有			17							吹付プラント設備							①一括設置 ②分割設置						<p>6. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 掘削工等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB452010</th> <th colspan="2">施工単位</th> <th colspan="2">m</th> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="6">入 力 条 件</th> </tr> <tr> <th>種 別</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>支保構造区分</td> <td>岩区分</td> <td>加背区分</td> <td>設計掘削断面積</td> <td>ずり出し運搬距離</td> <td>セメントの種類</td> </tr> <tr> <td>①通常断面 ②大断面</td> <td>(表 6.1)</td> <td>(表 6.2)</td> <td>(表 6.3)</td> <td>①L = 1.2 km 以下 ②L = 1.2 km 超え</td> <td>(表 6.4)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>吹付コンクリート骨材の種類</td> <td>ロックボルト1m当りの本数の増減の有無</td> <td>ロックボルト1m当りの増減本数(実数入力)</td> <td>先受けボルトの有無</td> <td>先受けボルトの規格</td> <td>先受けボルト1m当りの本数の増減の有無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(表 6.5)</td> <td>①無 ②有</td> <td></td> <td>①無 ②有</td> <td>(表 6.6)</td> <td>①無 ②有</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>先受けボルト1m当りの増減本数(実数入力)</td> <td>先受けボルト1m当りの増減本数(実数入力)</td> <td>注入急結剤使用の有無</td> <td>注入急結剤1m当りの本数</td> <td>切羽監視責任者の有無</td> <td>鏡吹付工の有無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td>(実数入力)</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>鏡吹付工施工の有無</td> <td>吹付プラント設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①無 ②有</td> <td>①一括設置 ②分割設置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. J 2条件で①、②を選択した場合は、J 3条件は①で固定される。 また、J 2条件で③～⑥を選択した場合は、J 3条件で②又は③を入力すること。 2. J 1条件で①を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。 J 1条件で①を選択し、J 2条件で③～⑥を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。なお、J 3条件で③～⑥を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。 3. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。 J 1条件で②を選択し、J 2条件で③～⑥を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。なお、J 3条件で③～⑥を選択した場合は、J 4条件は③～⑥から選択すること。 4. J 2条件で①～④を選択した場合はJ 9～J 12条件を選択する必要はない。 また、J 2条件で⑤を選択し、J 3条件で③を選択した場合は、J 9～J 12条件を選択する必要はない。 5. J 3条件で③を選択した場合は、J 5条件を入力する必要はない。 また、J 3条件で①、②を選択し、かつ、J 5条件で②を選択した場合、掘削等施工歩掛においてトンネル特殊工の施工歩掛を1m当りとしてJ 7の値が追加される。 6. 吹付コンクリート仕振は標準仕振としている。なお、急結剤(Y=0233000) [円/kg]を単価登録すること。 7. J 6条件で②を選択した場合は、セメント(各種)(Y=0200000) [円/t]を単価登録すること。 8. J 7条件で②を選択した場合は、コンクリート骨材(Y=0912000) [円/m³]を単価登録すること。 9. ロックボルトの使用量が表 4.42～44、46～48の値と一致しない場合は、J 7条件で②を選択し、J 8条件に1m当りの増減本数を実数入力すること。 なお、J 7条件で①を選択した場合は、J 8条件を入力する必要はない。 10. J 9条件で①を選択した場合は、J 10～J 12条件を選択する必要はない。 11. J 9条件かつJ 10条件で②を選択した場合は、先受けボルト(Y=0117000) [円/本]を単価登録すること。 12. 先受けボルトの使用量が表 4.45または表 4.49の値と一致しない場合は、J 11条件で②を選択し、J 12条件で1m当りの増減本数を実数入力すること。 なお、J 11条件で①を選択した場合は、J 12条件を入力する必要はない。 13. ロックボルト施工時に湧水等がある場合で注入急結剤を使用する場合は、J 13条件で②を入力すること。ただし、1本/孔を標準とする。なお、J 13条件で②を選択した場合は、注入急結剤(無収縮混和剤)(Y=1634101) [円/本]を単価登録すること。 14. J 13条件で②を選択した場合は、J 14条件で実数入力(小数第3位を四捨五入し、第2位)すること。 15. J 16条件で①を選択した場合は、諸雑費(その他機械)、諸雑費(その他材料)のみが計上される。 16. J 16条件で②を選択した場合は、諸雑費(その他機械)に加えて鏡吹付施工機械費、諸雑費(その他材料)に加えて鏡吹付材料費が計上される。 17. 火薬(含水燐薬スラリー200g) (Y=1680000) [円/kg]、電気雷管(DS段発2～5段)(Y=1681100) [円/個]及び電気雷管(DS段発6～10段)(Y=1681101) [円/個]、電力線(Y=7500000) [円/kWh]を単価登録すること。ただし、J 3条件で③を選択した場合には、電気雷管(DS段発6～10段)(Y=1681101) [円/個]の単価登録の必要はない。 18. 労務単価は、第1編第2章①直接工事費3 労務費の(例-1)の場合を想定し、労務単価の補正において、労務費調整係数(1.063)を入力すること。ただし、(例-2)や(例-3)など所定労働時間を超える作業を計画する場合等については、作業計画に応じて労務費調整係数等を計算し、労務単価の補正において、労務費調整係数等を入力すること。</p>	施工歩掛コード	WB452010		施工単位		m		施工区分	入 力 条 件						種 別	1	2	3	4	5	6	各 種	支保構造区分	岩区分	加背区分	設計掘削断面積	ずり出し運搬距離	セメントの種類	①通常断面 ②大断面	(表 6.1)	(表 6.2)	(表 6.3)	①L = 1.2 km 以下 ②L = 1.2 km 超え	(表 6.4)		7	8	9	10	11			吹付コンクリート骨材の種類	ロックボルト1m当りの本数の増減の有無	ロックボルト1m当りの増減本数(実数入力)	先受けボルトの有無	先受けボルトの規格	先受けボルト1m当りの本数の増減の有無		(表 6.5)	①無 ②有		①無 ②有	(表 6.6)	①無 ②有		12	13	14	15	16			先受けボルト1m当りの増減本数(実数入力)	先受けボルト1m当りの増減本数(実数入力)	注入急結剤使用の有無	注入急結剤1m当りの本数	切羽監視責任者の有無	鏡吹付工の有無		①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	(実数入力)	①無 ②有	①無 ②有		17	18						鏡吹付工施工の有無	吹付プラント設備						①無 ②有	①一括設置 ②分割設置					記載の変更
施工歩掛コード	WB452010		施工単位		m																																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																				
種 別	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																															
各 種	支保構造区分	岩区分	加背区分	設計掘削断面積	ずり出し運搬距離	セメントの種類																																																																																																																																																																																															
	①通常断面 ②大断面	(表 6.1)	(表 6.2)	(表 6.3)	①L = 1.2 km 以下 ②L = 1.2 km 超え	(表 6.4)																																																																																																																																																																																															
	7	8	9	10	11																																																																																																																																																																																																
	ロックボルト1m当りの本数の増減の有無	ロックボルト1m当りの増減本数(実数入力)	先受けボルトの有無	先受けボルトの規格	先受けボルト1m当りの本数の増減の有無																																																																																																																																																																																																
	①無 ②有		①無 ②有	(表 6.5)	①無 ②有	(表 6.6)																																																																																																																																																																																															
	12	13	14	15	16																																																																																																																																																																																																
	先受けボルト1m当りの増減本数(実数入力)	注入急結剤使用の有無	注入急結剤1m当りの本数	切羽監視責任者の有無	鏡吹付工の有無																																																																																																																																																																																																
	①無 ②有	①無 ②有	(実数入力)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																																																																																																																																
	17																																																																																																																																																																																																				
	吹付プラント設備																																																																																																																																																																																																				
	①一括設置 ②分割設置																																																																																																																																																																																																				
施工歩掛コード	WB452010		施工単位		m																																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																				
種 別	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																															
各 種	支保構造区分	岩区分	加背区分	設計掘削断面積	ずり出し運搬距離	セメントの種類																																																																																																																																																																																															
	①通常断面 ②大断面	(表 6.1)	(表 6.2)	(表 6.3)	①L = 1.2 km 以下 ②L = 1.2 km 超え	(表 6.4)																																																																																																																																																																																															
	7	8	9	10	11																																																																																																																																																																																																
	吹付コンクリート骨材の種類	ロックボルト1m当りの本数の増減の有無	ロックボルト1m当りの増減本数(実数入力)	先受けボルトの有無	先受けボルトの規格	先受けボルト1m当りの本数の増減の有無																																																																																																																																																																																															
	(表 6.5)	①無 ②有		①無 ②有	(表 6.6)	①無 ②有																																																																																																																																																																																															
	12	13	14	15	16																																																																																																																																																																																																
	先受けボルト1m当りの増減本数(実数入力)	先受けボルト1m当りの増減本数(実数入力)	注入急結剤使用の有無	注入急結剤1m当りの本数	切羽監視責任者の有無	鏡吹付工の有無																																																																																																																																																																																															
	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	(実数入力)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																																																																																																																															
	17	18																																																																																																																																																																																																			
	鏡吹付工施工の有無	吹付プラント設備																																																																																																																																																																																																			
	①無 ②有	①一括設置 ②分割設置																																																																																																																																																																																																			
積算上の注意事項				(控え頁) 4/10																																																																																																																																																																																																	

工 種	トンネル工(発破工法)
-----	-------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考																																																																																																																																
<p>(2) 集塵機運転</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452020</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面</td> <td>岩区分 (表 6.1)</td> <td>加背区分 (表 6.2)</td> <td>設計掘削断面積 (表 6.3)</td> <td>集塵機の規 格 (表 6.6)</td> <td>集塵機の運転一日当 り 電力消費量 (kWh) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 2条件で①、②を選択した場合は、J 3条件は①で固定される。 また、J 2条件で③～⑤を選択した場合は、J 3条件に②又は③を入力すること。 2. J 1条件で①を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は⑨～⑫から選択すること。 J 1条件で①を選択し、J 2条件で③～⑤を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は⑦～ ⑩から選択すること。なお、J 3条件で③を選択した場合は、J 4条件は①～④から選択すること。 3. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は⑬～⑯から選択すること。 J 1条件で②を選択し、J 2条件で③～⑤を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は ①～④から選択すること。なお、J 3条件で③を選択した場合は、J 4条件は①～④から選択すること。 4. J 5条件で⑦を選択した場合は、集塵機運転1日当り機械損料(Y=5811000)(円/日)、電力料(Y=7500000) [円/kWh]を単価登録すること。</p> <p>(3) ザリ出し工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452030</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面</td> <td>岩区分 (表 6.1)</td> <td>加背区分 (表 6.2)</td> <td>設計掘削断面積 (表 6.3)</td> <td>ザリ出し 運搬距離 (表 6.7)</td> <td>タイヤ損耗費 (表 6.8)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 2条件で①、②を選択した場合は、J 3条件は①で固定される。 また、J 2条件で③～⑤を選択した場合は、J 3条件に②又は③を入力すること。 2. J 1条件で①を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は⑨～⑫から選択すること。 J 1条件で①を選択し、J 2条件で③～⑤を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は⑦～ ⑩から選択すること。なお、J 3条件で③を選択した場合は、J 4条件は①～④から選択すること。 3. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は⑬～⑯から選択すること。 J 1条件で②を選択し、J 2条件で③～⑤を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は ①～④から選択すること。なお、J 3条件で③を選択した場合は、J 4条件は①～④から選択すること。</p> <p>(4) 覆工コンクリート工等</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452040</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面</td> <td>岩区分 (表 6.1)</td> <td>設計掘削断面積 (表 6.3)</td> <td>防水シート規格 (表 6.9)</td> <td>生コンクリート規格 (表 6.10)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 3条件は⑨～⑫から選択すること。 2. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①～④から選択した場合は、J 3条件は⑬～⑯から選択すること。 なお、J 2条件で⑤を選択した場合は、J 3条件は⑬～⑯から選択すること。 3. J 4条件で③を選択した場合は、防水シート(各種)Y=1711000(円/㎡)を単価登録すること。 4. J 5条件で⑤を選択した場合は、生コンクリート(各種)Y=0210000(円/㎡)を単価登録すること。</p>	施工歩掛コード	WB452020	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	加背区分 (表 6.2)	設計掘削断面積 (表 6.3)	集塵機の規 格 (表 6.6)	集塵機の運転一日当 り 電力消費量 (kWh) (実数入力)	施工歩掛コード	WB452030	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	加背区分 (表 6.2)	設計掘削断面積 (表 6.3)	ザリ出し 運搬距離 (表 6.7)	タイヤ損耗費 (表 6.8)	施工歩掛コード	WB452040	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	設計掘削断面積 (表 6.3)	防水シート規格 (表 6.9)	生コンクリート規格 (表 6.10)	<p>(2) 集塵機運転</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452020</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面</td> <td>岩区分 (表 6.1)</td> <td>加背区分 (表 6.2)</td> <td>設計掘削断面積 (表 6.3)</td> <td>集塵機の規 格 (表 6.6)</td> <td>集塵機の運転一日当 り 電力消費量 (kWh) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 2条件で①、②を選択した場合は、J 3条件は①で固定される。 また、J 2条件で③～⑤を選択した場合は、J 3条件に②又は③を入力すること。 2. J 1条件で①を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は⑨～⑫から選択すること。 J 1条件で①を選択し、J 2条件で③～⑤を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は⑦～ ⑩から選択すること。なお、J 3条件で③を選択した場合は、J 4条件は①～④から選択すること。 3. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は⑬～⑯から選択すること。 J 1条件で②を選択し、J 2条件で③～⑤を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は ①～④から選択すること。なお、J 3条件で③を選択した場合は、J 4条件は①～④から選択すること。 4. J 5条件で⑦を選択した場合は、集塵機運転1日当り機械損料(Y=5811000)(円/日)、電力料(Y=7500000) [円/kWh]を単価登録すること。</p> <p>(3) ザリ出し工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452030</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面</td> <td>岩区分 (表 6.1)</td> <td>加背区分 (表 6.2)</td> <td>設計掘削断面積 (表 6.3)</td> <td>ザリ出し 運搬距離 (表 6.7)</td> <td>タイヤ損耗費 (表 6.8)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 2条件で①、②を選択した場合は、J 3条件は①で固定される。 また、J 2条件で③～⑤を選択した場合は、J 3条件に②又は③を入力すること。 2. J 1条件で①を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は⑨～⑫から選択すること。 J 1条件で①を選択し、J 2条件で③～⑤を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は⑦～ ⑩から選択すること。なお、J 3条件で③を選択した場合は、J 4条件は①～④から選択すること。 3. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①、②を選択した場合は、J 4条件は⑬～⑯から選択すること。 J 1条件で②を選択し、J 2条件で③～⑤を選択し、J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は ①～④から選択すること。なお、J 3条件で③を選択した場合は、J 4条件は①～④から選択すること。</p> <p>(4) 覆工コンクリート工等</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452040</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面</td> <td>岩区分 (表 6.1)</td> <td>設計掘削断面積 (表 6.3)</td> <td>防水シート規格 (表 6.9)</td> <td>生コンクリート規格 (表 6.10)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 3条件は⑨～⑫から選択すること。 2. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①～④から選択した場合は、J 3条件は⑬～⑯から選択すること。 なお、J 2条件で⑤を選択した場合は、J 3条件は⑬～⑯から選択すること。 3. J 4条件で③を選択した場合は、防水シート(各種)Y=1711000(円/㎡)を単価登録すること。 4. J 5条件で⑤を選択した場合は、生コンクリート(各種)Y=0210000(円/㎡)を単価登録すること。</p> <p>現行どおり</p>	施工歩掛コード	WB452020	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	加背区分 (表 6.2)	設計掘削断面積 (表 6.3)	集塵機の規 格 (表 6.6)	集塵機の運転一日当 り 電力消費量 (kWh) (実数入力)	施工歩掛コード	WB452030	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	加背区分 (表 6.2)	設計掘削断面積 (表 6.3)	ザリ出し 運搬距離 (表 6.7)	タイヤ損耗費 (表 6.8)	施工歩掛コード	WB452040	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	設計掘削断面積 (表 6.3)	防水シート規格 (表 6.9)	生コンクリート規格 (表 6.10)	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
施工歩掛コード	WB452020	施工単位	m																																																																																																																															
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																	
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																																																												
各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	加背区分 (表 6.2)	設計掘削断面積 (表 6.3)	集塵機の規 格 (表 6.6)	集塵機の運転一日当 り 電力消費量 (kWh) (実数入力)																																																																																																																												
施工歩掛コード	WB452030	施工単位	m																																																																																																																															
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																	
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																																																												
各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	加背区分 (表 6.2)	設計掘削断面積 (表 6.3)	ザリ出し 運搬距離 (表 6.7)	タイヤ損耗費 (表 6.8)																																																																																																																												
施工歩掛コード	WB452040	施工単位	m																																																																																																																															
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																	
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																													
各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	設計掘削断面積 (表 6.3)	防水シート規格 (表 6.9)	生コンクリート規格 (表 6.10)																																																																																																																													
施工歩掛コード	WB452020	施工単位	m																																																																																																																															
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																	
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																																																												
各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	加背区分 (表 6.2)	設計掘削断面積 (表 6.3)	集塵機の規 格 (表 6.6)	集塵機の運転一日当 り 電力消費量 (kWh) (実数入力)																																																																																																																												
施工歩掛コード	WB452030	施工単位	m																																																																																																																															
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																	
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																																																												
各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	加背区分 (表 6.2)	設計掘削断面積 (表 6.3)	ザリ出し 運搬距離 (表 6.7)	タイヤ損耗費 (表 6.8)																																																																																																																												
施工歩掛コード	WB452040	施工単位	m																																																																																																																															
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																	
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																													
各 種	支保構造 区分 ①通常断面 ②大断面	岩区分 (表 6.1)	設計掘削断面積 (表 6.3)	防水シート規格 (表 6.9)	生コンクリート規格 (表 6.10)																																																																																																																													

IV-5-①-71

積算上の注意事項	(控え頁) 5/10
----------	---------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																								
	現 行	改 正	備 考																																																																																																																								
	<p>表6.4 セメントの種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通 (バラ)</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </tbody> </table> <p>表6.5 先受けボルトの規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S D 345 D16~25</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </tbody> </table> <p>表6.6 集塵機の規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>1,200 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>1,800 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td>2,400 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> <tr> <td>電 気 式 2,000 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> <tr> <td>2,400 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">⑥</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td style="text-align: center;">⑦</td> </tr> </tbody> </table> <p>表6.7 運搬距離</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L ≤ 0.5 km</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>0.5 km < L ≤ 1.2 km</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>1.2 km < L ≤ 1.4 km</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td>1.4 km < L ≤ 2.2 km</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> <tr> <td>2.2 km < L ≤ 3.0 km</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Lは運搬距離(片押し延長+坑外片道運搬距離)とする。</p> <p>表6.8 タイヤ損耗費</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業の状況</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>良好</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>不良</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> </tbody> </table> <p>表6.9 防水シート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.4mm</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.8mm</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> </tbody> </table> <p>表6.10 生コンクリート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18-15-40 (普通) C=270 kg/m³以上</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>18-15-40 (高炉) C=270 kg/m³以上</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> </tbody> </table>	規 格	入力番号	普通 (バラ)	①	各 種	②	規 格	入力番号	S D 345 D16~25	①	各 種	②	規 格	入力番号	500 m ³ / min 級	①	1,200 m ³ / min 級	②	1,800 m ³ / min 級	③	2,400 m ³ / min 級	④	電 気 式 2,000 m ³ / min 級	⑤	2,400 m ³ / min 級	⑥	各 種	⑦	規 格	入力番号	L ≤ 0.5 km	①	0.5 km < L ≤ 1.2 km	②	1.2 km < L ≤ 1.4 km	③	1.4 km < L ≤ 2.2 km	④	2.2 km < L ≤ 3.0 km	⑤	作業の状況	入力番号	普通	①	良好	②	不良	③	規 格	入力番号	透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.4mm	①	透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.8mm	②	各 種	③	規 格	入力番号	18-15-40 (普通) C=270 kg/m ³ 以上	①	18-15-40 (高炉) C=270 kg/m ³ 以上	②	各 種	③	<p>現行どおり</p> <p>表6.5 吹付コンクリート骨材の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート用骨材砕石 15mm~5mm</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </tbody> </table> <p>表6.6 先受けボルトの規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S D 345 D16~25</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </tbody> </table> <p>表6.7 集塵機の規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>1,200 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>1,800 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td>2,400 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> <tr> <td>電 気 式 2,000 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> <tr> <td>2,400 m³ / min 級</td> <td style="text-align: center;">⑥</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td style="text-align: center;">⑦</td> </tr> </tbody> </table> <p>表6.8 運搬距離</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L ≤ 0.5 km</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>0.5 km < L ≤ 1.2 km</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>1.2 km < L ≤ 1.4 km</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td>1.4 km < L ≤ 2.2 km</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> <tr> <td>2.2 km < L ≤ 3.0 km</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Lは運搬距離(片押し延長+坑外片道運搬距離)とする。</p> <p>表6.9 タイヤ損耗費</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業の状況</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>良好</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>不良</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> </tbody> </table> <p>表6.10 防水シート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.4mm</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.8mm</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> </tbody> </table> <p>次頁へ移動</p>	規 格	入力番号	コンクリート用骨材砕石 15mm~5mm	①	各 種	②	規 格	入力番号	S D 345 D16~25	①	各 種	②	規 格	入力番号	500 m ³ / min 級	①	1,200 m ³ / min 級	②	1,800 m ³ / min 級	③	2,400 m ³ / min 級	④	電 気 式 2,000 m ³ / min 級	⑤	2,400 m ³ / min 級	⑥	各 種	⑦	規 格	入力番号	L ≤ 0.5 km	①	0.5 km < L ≤ 1.2 km	②	1.2 km < L ≤ 1.4 km	③	1.4 km < L ≤ 2.2 km	④	2.2 km < L ≤ 3.0 km	⑤	作業の状況	入力番号	普通	①	良好	②	不良	③	規 格	入力番号	透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.4mm	①	透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.8mm	②	各 種	③	記載の変更
規 格	入力番号																																																																																																																										
普通 (バラ)	①																																																																																																																										
各 種	②																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
S D 345 D16~25	①																																																																																																																										
各 種	②																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
500 m ³ / min 級	①																																																																																																																										
1,200 m ³ / min 級	②																																																																																																																										
1,800 m ³ / min 級	③																																																																																																																										
2,400 m ³ / min 級	④																																																																																																																										
電 気 式 2,000 m ³ / min 級	⑤																																																																																																																										
2,400 m ³ / min 級	⑥																																																																																																																										
各 種	⑦																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
L ≤ 0.5 km	①																																																																																																																										
0.5 km < L ≤ 1.2 km	②																																																																																																																										
1.2 km < L ≤ 1.4 km	③																																																																																																																										
1.4 km < L ≤ 2.2 km	④																																																																																																																										
2.2 km < L ≤ 3.0 km	⑤																																																																																																																										
作業の状況	入力番号																																																																																																																										
普通	①																																																																																																																										
良好	②																																																																																																																										
不良	③																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.4mm	①																																																																																																																										
透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.8mm	②																																																																																																																										
各 種	③																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
18-15-40 (普通) C=270 kg/m ³ 以上	①																																																																																																																										
18-15-40 (高炉) C=270 kg/m ³ 以上	②																																																																																																																										
各 種	③																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
コンクリート用骨材砕石 15mm~5mm	①																																																																																																																										
各 種	②																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
S D 345 D16~25	①																																																																																																																										
各 種	②																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
500 m ³ / min 級	①																																																																																																																										
1,200 m ³ / min 級	②																																																																																																																										
1,800 m ³ / min 級	③																																																																																																																										
2,400 m ³ / min 級	④																																																																																																																										
電 気 式 2,000 m ³ / min 級	⑤																																																																																																																										
2,400 m ³ / min 級	⑥																																																																																																																										
各 種	⑦																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
L ≤ 0.5 km	①																																																																																																																										
0.5 km < L ≤ 1.2 km	②																																																																																																																										
1.2 km < L ≤ 1.4 km	③																																																																																																																										
1.4 km < L ≤ 2.2 km	④																																																																																																																										
2.2 km < L ≤ 3.0 km	⑤																																																																																																																										
作業の状況	入力番号																																																																																																																										
普通	①																																																																																																																										
良好	②																																																																																																																										
不良	③																																																																																																																										
規 格	入力番号																																																																																																																										
透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.4mm	①																																																																																																																										
透水性緩衝材 t = 3mm シート部 t = 0.8mm	②																																																																																																																										
各 種	③																																																																																																																										
積算上の注意事項	IV-5-①-73		(控え頁) 6/10																																																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考																																																																																																																																								
<p>(7) インバート掘削工(大型ブレイカー掘削)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB45010</th> <th>施工単位</th> <th>m</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">施工区分</th> <th colspan="2">入 力 条 件</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>J1</th> <th>J2</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>岩区分</td> <td>供用日当り運転時間</td> <td rowspan="2">①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.11)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 上表は土量換算係数(Γ)を1としている。</p> <p>表6.11 岩区分</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>(8) インバートすり出し工</p> <table border="1"> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB45020</th> <th>施工単位</th> <th>m</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">施工区分</th> <th colspan="2">入 力 条 件</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>J1</th> <th>J2</th> <th>J3</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>岩区分</td> <td>タイヤ損耗費</td> <td>供用日当り運転時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 上表は土量換算係数(Γ)を1としている。</p> <p>(9) インバート型枠工</p> <table border="1"> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB45030</th> <th>施工単位</th> <th>m</th> </tr> </table> <p>(10) インバートコンクリート工</p> <table border="1"> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB45040</th> <th>施工単位</th> <th>m</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">施工区分</th> <th colspan="2">入 力 条 件</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>J1</th> <th>J2</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>生コンクリート規格</td> <td>供用日当り運転時間</td> <td rowspan="2">①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.12)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) J1条件で②を選択した場合には、コンクリート(各種)Y=0210000 [円/m²]を単価登録すること。</p> <p>表6.12 生コンクリートの規格</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの規格</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>18-8-40(普通)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>18-8-40(高砂)</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>③</td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB45010	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件		備 考	J1	J2	各 種	岩区分	供用日当り運転時間	①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.11)			種 別	入力番号	D I	①	D II	②	D III	③	施工歩掛コード	WB45020	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件		備 考	J1	J2	J3	各 種	岩区分	タイヤ損耗費	供用日当り運転時間				施工歩掛コード	WB45030	施工単位	m	施工歩掛コード	WB45040	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件		備 考	J1	J2	各 種	生コンクリート規格	供用日当り運転時間	①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.12)			コンクリートの規格	入力番号	18-8-40(普通)	①	18-8-40(高砂)	②	各 種	③	<p>前頁から移動</p> <p>表6.40-1 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>18-15-40(普通) C=270 kg/m³以上</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>18-15-40(高砂) C=270 kg/m³以上</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>(7) インバート掘削工(大型ブレイカー掘削)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB450110</th> <th>施工単位</th> <th>m</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">施工区分</th> <th colspan="2">入 力 条 件</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>J1</th> <th>J2</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>岩区分</td> <td>供用日当り運転時間</td> <td rowspan="2">①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.44-12)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 上表は土量換算係数(Γ)を1としている。</p> <p>表6.44-12 岩区分</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>(8) インバートすり出し工</p> <table border="1"> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB45020</th> <th>施工単位</th> <th>m</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">施工区分</th> <th colspan="2">入 力 条 件</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>J1</th> <th>J2</th> <th>J3</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>岩区分</td> <td>タイヤ損耗費</td> <td>供用日当り運転時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 上表は土量換算係数(Γ)を1としている。</p> <p>現行どおり</p> <p>(10) インバートコンクリート工</p> <table border="1"> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB45040</th> <th>施工単位</th> <th>m</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">施工区分</th> <th colspan="2">入 力 条 件</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>J1</th> <th>J2</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>生コンクリート規格</td> <td>供用日当り運転時間</td> <td rowspan="2">①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.44-13)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) J1条件で②を選択した場合には、コンクリート(各種)Y=0210000 [円/m²]を単価登録すること。</p> <p>次頁へ移動</p>	規 格	入力番号	18-15-40(普通) C=270 kg/m ³ 以上	①	18-15-40(高砂) C=270 kg/m ³ 以上	②	各 種	③	施工歩掛コード	WB450110	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件		備 考	J1	J2	各 種	岩区分	供用日当り運転時間	①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.44-12)			種 別	入力番号	D I	①	D II	②	D III	③	施工歩掛コード	WB45020	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件		備 考	J1	J2	J3	各 種	岩区分	タイヤ損耗費	供用日当り運転時間				施工歩掛コード	WB45040	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件		備 考	J1	J2	各 種	生コンクリート規格	供用日当り運転時間	①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.44-13)			<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
施工歩掛コード	WB45010	施工単位	m																																																																																																																																							
施工区分	入 力 条 件		備 考																																																																																																																																							
	J1	J2																																																																																																																																								
各 種	岩区分	供用日当り運転時間	①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.11)																																																																																																																																							
種 別	入力番号																																																																																																																																									
D I	①																																																																																																																																									
D II	②																																																																																																																																									
D III	③																																																																																																																																									
施工歩掛コード	WB45020	施工単位	m																																																																																																																																							
施工区分	入 力 条 件		備 考																																																																																																																																							
	J1	J2		J3																																																																																																																																						
各 種	岩区分	タイヤ損耗費	供用日当り運転時間																																																																																																																																							
施工歩掛コード	WB45030	施工単位	m																																																																																																																																							
施工歩掛コード	WB45040	施工単位	m																																																																																																																																							
施工区分	入 力 条 件		備 考																																																																																																																																							
	J1	J2																																																																																																																																								
各 種	生コンクリート規格	供用日当り運転時間	①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.12)																																																																																																																																							
コンクリートの規格	入力番号																																																																																																																																									
18-8-40(普通)	①																																																																																																																																									
18-8-40(高砂)	②																																																																																																																																									
各 種	③																																																																																																																																									
規 格	入力番号																																																																																																																																									
18-15-40(普通) C=270 kg/m ³ 以上	①																																																																																																																																									
18-15-40(高砂) C=270 kg/m ³ 以上	②																																																																																																																																									
各 種	③																																																																																																																																									
施工歩掛コード	WB450110	施工単位	m																																																																																																																																							
施工区分	入 力 条 件		備 考																																																																																																																																							
	J1	J2																																																																																																																																								
各 種	岩区分	供用日当り運転時間	①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.44-12)																																																																																																																																							
種 別	入力番号																																																																																																																																									
D I	①																																																																																																																																									
D II	②																																																																																																																																									
D III	③																																																																																																																																									
施工歩掛コード	WB45020	施工単位	m																																																																																																																																							
施工区分	入 力 条 件		備 考																																																																																																																																							
	J1	J2		J3																																																																																																																																						
各 種	岩区分	タイヤ損耗費	供用日当り運転時間																																																																																																																																							
施工歩掛コード	WB45040	施工単位	m																																																																																																																																							
施工区分	入 力 条 件		備 考																																																																																																																																							
	J1	J2																																																																																																																																								
各 種	生コンクリート規格	供用日当り運転時間	①標準 ②標準以外 (実数入力) 表(6.44-13)																																																																																																																																							

IV-5-①-74

積算上の注意事項		(控え頁) 7/10
----------	--	---------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考																																																																																																																																						
<p>(11) インバート敷均し・締固め工 (路床)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB450150</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">供用日当り運転時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(12) 埋戻材の積込作業</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB450160</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>機械損料割増</td> <td colspan="2">供用日当り運転時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 上表は上量換算係数 (f) を1としている。</p> <p>表6.13 機械損料割増</p> <table border="1"> <tr> <td>機械損料割増</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>割増なし</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>25%</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>(13) 吹付プラント設備組立・解体</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB450201</td> <td>施工単位</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>作業内容</td> <td colspan="2">ラフテレーン クレーンの賃料補正</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。</p> <p>(14) スライドセントル組立・解体</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB450211</td> <td>施工単位</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>作業内容</td> <td colspan="2">ラフテレーン クレーンの賃料補正</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。</p> <p style="text-align: center;">IV-5-①-75</p>	施工歩掛コード	WB450150	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1			供用日当り運転時間				①標準 ②標準以外 (実数入力)			施工歩掛コード	WB450160	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		機械損料割増	供用日当り運転時間			①標準 ②標準以外 (実数入力)			機械損料割増	入力番号	割増なし	①	25%	②	施工歩掛コード	WB450201	施工単位	基	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		作業内容	ラフテレーン クレーンの賃料補正			①標準 ②標準以外 (実数入力)			施工歩掛コード	WB450211	施工単位	基	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		作業内容	ラフテレーン クレーンの賃料補正			①標準 ②標準以外 (実数入力)			<p>前頁から移動</p> <p>表6.42 13 生コンクリートの規格</p> <table border="1"> <tr> <td>コンクリートの規格</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 (普通)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 (高圧)</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>現行どおり</p> <p>(12) 埋戻材の積込作業</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB450160</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>機械損料割増</td> <td colspan="2">供用日当り運転時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 上表は上量換算係数 (f) を1としている。</p> <p>表6.43 14 機械損料割増</p> <table border="1"> <tr> <td>機械損料割増</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>割増なし</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>25%</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>(13) 吹付プラント設備組立・解体</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB450201</td> <td>施工単位</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>作業内容</td> <td colspan="2">ラフテレーン クレーンの賃料補正</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。</p> <p>次頁へ移動</p>	コンクリートの規格	入力番号	18-8-40 (普通)	①	18-8-40 (高圧)	②	各 種	③	施工歩掛コード	WB450160	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		機械損料割増	供用日当り運転時間			①標準 ②標準以外 (実数入力)			機械損料割増	入力番号	割増なし	①	25%	②	施工歩掛コード	WB450201	施工単位	基	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		作業内容	ラフテレーン クレーンの賃料補正			①標準 ②標準以外 (実数入力)			<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
施工歩掛コード	WB450150	施工単位	m																																																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1																																																																																																																																							
	供用日当り運転時間																																																																																																																																							
	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																							
施工歩掛コード	WB450160	施工単位	m																																																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																						
	機械損料割増	供用日当り運転時間																																																																																																																																						
	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																							
機械損料割増	入力番号																																																																																																																																							
割増なし	①																																																																																																																																							
25%	②																																																																																																																																							
施工歩掛コード	WB450201	施工単位	基																																																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																						
	作業内容	ラフテレーン クレーンの賃料補正																																																																																																																																						
	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																							
施工歩掛コード	WB450211	施工単位	基																																																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																						
	作業内容	ラフテレーン クレーンの賃料補正																																																																																																																																						
	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																							
コンクリートの規格	入力番号																																																																																																																																							
18-8-40 (普通)	①																																																																																																																																							
18-8-40 (高圧)	②																																																																																																																																							
各 種	③																																																																																																																																							
施工歩掛コード	WB450160	施工単位	m																																																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																						
	機械損料割増	供用日当り運転時間																																																																																																																																						
	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																							
機械損料割増	入力番号																																																																																																																																							
割増なし	①																																																																																																																																							
25%	②																																																																																																																																							
施工歩掛コード	WB450201	施工単位	基																																																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																						
	作業内容	ラフテレーン クレーンの賃料補正																																																																																																																																						
	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																																																																							

積算上の注意事項		(控え頁) 8/10
----------	--	---------------

工 種	トンネル工(発破工法)
-----	-------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考																																																																																							
<p>(15) 防水作業台車組立・解体</p> <table border="1"> <tr> <td>施工手順コード</td> <td>WB45022</td> <td>施工単位</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>作業内容 (表 6.14)</td> <td colspan="2">ラフテレーンクレーンの賃料補正 ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンの賃料補正(夜間作業)を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。</p> <p>表6.14 作業内容</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>組立・解体</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>組立</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>解体</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>(16) 仮設備保守(掘削作業～支保工作業)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工手順コード</td> <td>WB450252</td> <td>施工単位</td> <td>箇所</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 施工量については、小数第2位を四捨五入し、第1位とする。 2. 労務単価は、第1編第2章①直接工事費3労務費の(例-1)の場合を想定し、労務単価の補正において、労務費調整係数(1.063)を入力すること。ただし、(例-2)や(例-3)など所定労働時間を超える作業を計画する場合等については、作業計画に応じて労務費調整係数等を計算し、労務単価の補正において、労務費調整係数等を入力すること。</p> <p>(17) 仮設備保守(支保工作業後)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工手順コード</td> <td>WB460283</td> <td>施工単位</td> <td>箇所</td> </tr> </table> <p>(注) 施工量については、小数第2位を四捨五入し、第1位とする。</p> <p>(18) 軸流ファン運転費</p> <table border="1"> <tr> <td>施工手順コード</td> <td>WB450270</td> <td>施工単位</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="4">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">反転軸流式</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> </tr> <tr> <td>軸流ファン の規格 (表 6.15)</td> <td>軸流ファンの 運転1時間当り 電力消費量 (kW) (実数入力)</td> <td>トンネル内の 送気管設置総延長 (m) (実数入力)</td> <td>軸流ファンの 運転日数 (日) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1 条件で①～④を選択した場合は、J 2 条件を入力する必要はない。 2. J 1 条件で⑤を選択した場合は軸流ファン運転1日当り機械損料 (Y=5820000) [円/日]を単価登録すること。 3. 風管単価 (Y=1397000) [円/ m・日]、電力料 (Y=75000000) [円/kWh]を単価登録すること。</p>	施工手順コード	WB45022	施工単位	基	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		作業内容 (表 6.14)	ラフテレーンクレーンの賃料補正 ①標準 ②標準以外 (実数入力)			入力番号	組立・解体	①	組立	②	解体	③	施工手順コード	WB450252	施工単位	箇所	施工手順コード	WB460283	施工単位	箇所	施工手順コード	WB450270	施工単位	式	施工区分	入 力 条 件				反転軸流式	J 1	J 2	J 3	J 4	軸流ファン の規格 (表 6.15)	軸流ファンの 運転1時間当り 電力消費量 (kW) (実数入力)	トンネル内の 送気管設置総延長 (m) (実数入力)	軸流ファンの 運転日数 (日) (実数入力)	<p>(14) スライドセントル組立・解体</p> <table border="1"> <tr> <td>施工手順コード</td> <td>WB450211</td> <td>施工単位</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>作業内容 (表 6.44-15)</td> <td colspan="2">ラフテレーンクレーンの賃料補正 ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンの賃料補正(夜間作業)を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。</p> <p>(15) 防水作業台車組立・解体</p> <table border="1"> <tr> <td>施工手順コード</td> <td>WB450221</td> <td>施工単位</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>作業内容 (表 6.44 15)</td> <td colspan="2">ラフテレーンクレーンの賃料補正 ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンの賃料補正(夜間作業)を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。</p> <p>表6.44 15 作業内容</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>組立・解体</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>組立</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>解体</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>前頁から移動</p> <p>現行どおり</p> <p>次頁へ移動</p>	施工手順コード	WB450211	施工単位	基	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		作業内容 (表 6.44-15)	ラフテレーンクレーンの賃料補正 ①標準 ②標準以外 (実数入力)		施工手順コード	WB450221	施工単位	基	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		作業内容 (表 6.44 15)	ラフテレーンクレーンの賃料補正 ①標準 ②標準以外 (実数入力)			入力番号	組立・解体	①	組立	②	解体	③	記載の変更
施工手順コード	WB45022	施工単位	基																																																																																						
施工区分	入 力 条 件																																																																																								
各 種	J 1	J 2																																																																																							
	作業内容 (表 6.14)	ラフテレーンクレーンの賃料補正 ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																							
	入力番号																																																																																								
組立・解体	①																																																																																								
組立	②																																																																																								
解体	③																																																																																								
施工手順コード	WB450252	施工単位	箇所																																																																																						
施工手順コード	WB460283	施工単位	箇所																																																																																						
施工手順コード	WB450270	施工単位	式																																																																																						
施工区分	入 力 条 件																																																																																								
反転軸流式	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																					
	軸流ファン の規格 (表 6.15)	軸流ファンの 運転1時間当り 電力消費量 (kW) (実数入力)	トンネル内の 送気管設置総延長 (m) (実数入力)	軸流ファンの 運転日数 (日) (実数入力)																																																																																					
	施工手順コード	WB450211	施工単位	基																																																																																					
	施工区分	入 力 条 件																																																																																							
各 種	J 1	J 2																																																																																							
	作業内容 (表 6.44-15)	ラフテレーンクレーンの賃料補正 ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																							
施工手順コード	WB450221	施工単位	基																																																																																						
施工区分	入 力 条 件																																																																																								
各 種	J 1	J 2																																																																																							
	作業内容 (表 6.44 15)	ラフテレーンクレーンの賃料補正 ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																							
	入力番号																																																																																								
組立・解体	①																																																																																								
組立	②																																																																																								
解体	③																																																																																								
IV-5-①-76																																																																																									

積算上の注意事項	(控え頁) 9/10
----------	---------------

改正理由	一部改正	改 正 — 現 行	
------	------	-----------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

表6.15 軸流ファンの規格

種 類			入力番号
規格	風 量 m ³ /min	風 圧 kPa	
反転軸流式 (二段運転)	150	2.5	①
	400	3.4	②
	500	4.9	③
	750	3.4	④
	1,000	2.9	⑤
反転軸流式 (一段運転)	150	2.5	⑥
	400	3.4	⑦
	500	4.9	⑧
	750	3.4	⑨
	1,000	2.9	⑩
各種	—	—	⑪

- (19) 給水設備運転費
- | | | | |
|---------|----------|------|---|
| 施工歩掛コード | WB450280 | 施工単位 | 日 |
|---------|----------|------|---|
- (注) 施工量は実日数で計上する。
- (20) 排水設備運転費
- | | | | |
|---------|----------|------|---|
| 施工歩掛コード | WB450290 | 施工単位 | 日 |
|---------|----------|------|---|
- (注) 施工量は実日数で計上する。

IV-5-①-77

(18) 軸流ファン運転費

施工歩掛コード	WB450270	施工単位	式
施工区分	入 力 条 件		
	J 1	J 2	J 3
反転軸流式	軸流ファンの規格	軸流ファンの運転1時間当り電力消費量(kWh)	トンネル内の送風管設置総延長(m)
	(表6.45 15)	(実数入力)	(実数入力)
			軸流ファンの運転日数(日)
			(実数入力)

- (注) 1. J 1条件で①～⑤を選択した場合は、J 2条件を入力する必要はない。
 2. J 1条件で⑥を選択した場合は軸流ファン運転1口当り機械損料 (Y=5820000) [円/口]を単価登録すること。
 3. 風管損料 (Y=1207000) [円/ m・日]、電力料 (Y=7500000) [円/kWh]を単価登録すること。

表6.45 16 軸流ファンの規格

種 類			入力番号
規格	風 量 m ³ /min	風 圧 kPa	
反転軸流式 (二段運転)	150	2.5	①
	400	3.4	②
	500	4.9	③
	750	3.4	④
	1,000	2.9	⑤
反転軸流式 (一段運転)	150	2.5	⑥
	400	3.4	⑦
	500	4.9	⑧
	750	3.4	⑨
	1,000	2.9	⑩
各種	—	—	⑪

現行どおり

前頁から移動



積算上の注意事項		(控え頁) 10/10	
----------	--	----------------	--

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																					
現	行	改 正	備 考																																																					
<p>3-7-2 機械損料の補正等 トンネル掘削工において、トンネル専用機ではないホイールローダ・バックホウ（大型ブレーカー用ベースマシン含む）、トンネル専用機及び建設専用は除くダンプトラックを使用する場合は機械損料の補正を行うものとし、トンネルの岩区分による補正割増は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 機械損料の補正</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>岩 区 分</th> <th>機械損料割増</th> <th>岩 分 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C I・C II</td> <td>25%</td> <td>中硬岩</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>25%</td> <td>軟岩(II)</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>25%</td> <td>軟岩(II)</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>—</td> <td>軟岩(I)</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土量変化率は、「第II編第1章①土量変化率等」による。 2. トンネル内における機械損料の割増は上表のとおりとし、掘削土仮置き以降の機械損料の割増については、「第II編第1章土工①土量変化率等」による。 3. 岩区分D IIの岩分類の判定にあたっては、岩の性状により決定するものとする。</p> <p>3-7-3 機械賃料の補正等 トンネル工事対応の下記機械を使用する場合は、次表に示す数値を乗じて得た額とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 機械賃料の補正</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>基礎価格に 乗ずる率</th> <th>簡 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転 質量3~4t</td> <td>1.23</td> <td>賃 料</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-8 工事用仮設備 3-8-1 吹付プラント設備 吹付プラント設備の機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15㎡×3</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>(バッチ型・定置式) 25㎡/h (一括攪混ぜ)</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>(バッチ型・定置式) 25㎡/h (分割攪混ぜ)</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 吹付プラント設備は、坑外に設置する。 2. 現場条件等により適合しない場合は、現場条件に見合った機種・規格を別途考慮する。 3. セメントサイロ、骨材ホッパ、コンクリートプラントは、損料とする。 コンクリートプラントの損料は、練混ぜ方式(一括または分割)に対応したものを選定すること。</p> <p>3-8-2 電力設備 (1) 施工に必要な負荷設備に対応出来る必要電力を決定する。 (2) 電力会社の供給設備を調査し、負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。 (3) 受電設備、変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。</p> <p>3-8-3 照明設備 坑内照明は、40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するものを標準とする。また、切羽照明は500W投光器とし、切羽部6個(上半4個、下半2個)、掘工4個を標準とする。 坑内照明、切羽照明の計上は、日当り17時間を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-5-①-89</p>	岩 区 分	機械損料割増	岩 分 類	C I・C II	25%	中硬岩	D I	25%	軟岩(II)	D II	25%	軟岩(II)	D III	—	軟岩(I)	D III	—		機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	簡 要	振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転 質量3~4t	1.23	賃 料	機 械 名	規 格	単 位	数 量	セメントサイロ	[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h	基	1	骨材ホッパ	15㎡×3	〃	1	コンクリートプラント	(バッチ型・定置式) 25㎡/h (一括攪混ぜ)	〃	1	〃	(バッチ型・定置式) 25㎡/h (分割攪混ぜ)	〃	1	<p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p>3-7-3 機械賃料の補正等 トンネル工事対応の下記機械を使用する場合は、次表に示す数値を乗じて得た額とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 機械賃料の補正</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>基礎価格に 乗ずる率</th> <th>簡 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転 質量3~4t</td> <td>1.23 1.29</td> <td>賃 料</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p>	機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	簡 要	振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転 質量3~4t	1.23 1.29	賃 料	<p style="text-align: center;">記 載 の 変 更</p> <p style="text-align: center;">記 載 の 変 更</p>
岩 区 分	機械損料割増	岩 分 類																																																						
C I・C II	25%	中硬岩																																																						
D I	25%	軟岩(II)																																																						
D II	25%	軟岩(II)																																																						
D III	—	軟岩(I)																																																						
D III	—																																																							
機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	簡 要																																																					
振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転 質量3~4t	1.23	賃 料																																																					
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																																					
セメントサイロ	[鋼製溶接構造] 容量30t 排出能力20t/h	基	1																																																					
骨材ホッパ	15㎡×3	〃	1																																																					
コンクリートプラント	(バッチ型・定置式) 25㎡/h (一括攪混ぜ)	〃	1																																																					
〃	(バッチ型・定置式) 25㎡/h (分割攪混ぜ)	〃	1																																																					
機 械 名	規 格	基礎価格に 乗ずる率	簡 要																																																					
振動ローラ	(トンネル工事対応) 搭乗・コンバインド式 ・排出ガス対策型(第2次基準値)・低騒音型・運転 質量3~4t	1.23 1.29	賃 料																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 1/6																																																					

工 種	トンネル工(機械掘削工)
-----	--------------

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																
	現 行	改 正	備 考																																																																																																
	<table border="1"> <caption>(15) 機械運転単価表</caption> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自由断面トンネル掘削機</td> <td>最大掘削高6.0m 掘削幅6.4m カッターヘッド出力200～240kW</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →817 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>ドリルジャンボ</td> <td>トンネル工専用 ホイール式・排出ガス対策型(第1次基準値) 2ブーム・2バスケットドリフト質量150kg級</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →267 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>コンクリート吹付機</td> <td>トンネル工専用 湿式吹付・R一体・C搭載・エレクトラ型・排出ガス対策型(第3次基準値)・吹付範囲半径7m級・吐油量6～22m³/h級</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →363 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>トンネル専用機 サイドダンプ式・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積2.3m級</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 →88 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工専用 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型・後方超小旋回型・山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 →28 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>吹付プラント設備</td> <td>(バッチ型・定置式) 25m³/h (一括練混ぜ)</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →24 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>吹付プラント設備</td> <td>(バッチ型・定置式) 25m³/h (分割練混ぜ)</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →18 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ(ベースマシン含む)</td> <td>トンネル工専用 排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧式1,300kg級 ベースマシン20t級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量 →60 機械損料数量→1.00</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>トンネル工専用オンロード型 10t積</td> <td>機-32</td> <td>燃料消費量 →70 タイヤの消耗費も計上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>配管式圧送能力55m³/h</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 →58 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>集 塵 機</td> <td>定格風量○○○m³/min級</td> <td>機-14</td> <td>燃料消費量 →必要分計上する</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	自由断面トンネル掘削機	最大掘削高6.0m 掘削幅6.4m カッターヘッド出力200～240kW	機-25	燃料消費量 →817 機械損料数量→1.40	ドリルジャンボ	トンネル工専用 ホイール式・排出ガス対策型(第1次基準値) 2ブーム・2バスケットドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 →267 機械損料数量→1.40	コンクリート吹付機	トンネル工専用 湿式吹付・R一体・C搭載・エレクトラ型・排出ガス対策型(第3次基準値)・吹付範囲半径7m級・吐油量6～22m ³ /h級	機-25	燃料消費量 →363 機械損料数量→1.40	ホイールローダ	トンネル専用機 サイドダンプ式・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積2.3m級	機-24	燃料消費量 →88 機械損料数量→1.40	バックホウ	トンネル工専用 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型・後方超小旋回型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-24	燃料消費量 →28 機械損料数量→1.40	吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (一括練混ぜ)	機-25	燃料消費量 →24 機械損料数量→1.40	吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (分割練混ぜ)	機-25	燃料消費量 →18 機械損料数量→1.40	大型ブレーカ(ベースマシン含む)	トンネル工専用 排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧式1,300kg級 ベースマシン20t級	機-12	燃料消費量 →60 機械損料数量→1.00	ダンプトラック	トンネル工専用オンロード型 10t積	機-32	燃料消費量 →70 タイヤの消耗費も計上	コンクリートポンプ車	配管式圧送能力55m ³ /h	機-24	燃料消費量 →58 機械損料数量→1.40	集 塵 機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 →必要分計上する	<table border="1"> <caption>(15) 機械運転単価表</caption> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自由断面トンネル掘削機</td> <td>最大掘削高6.0m 掘削幅6.4m カッターヘッド出力200～240kW</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →817 機械損料数量→1.40 1.1</td> </tr> <tr> <td>ドリルジャンボ</td> <td>トンネル工専用 ホイール式・排出ガス対策型(第1次基準値) 2ブーム・2バスケットドリフト質量150kg級</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →267 機械損料数量→1.40 1.1</td> </tr> <tr> <td>コンクリート吹付機</td> <td>トンネル工専用 湿式吹付・R一体・C搭載・エレクトラ型・排出ガス対策型(第3次基準値)・吹付範囲半径7m級・吐油量6～22m³/h級</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →363 機械損料数量→1.40 1.1</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>トンネル専用機 サイドダンプ式・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積2.3m級</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 →88 機械損料数量→1.40 1.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工専用 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型・後方超小旋回型・山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 →28 機械損料数量→1.40 1.1</td> </tr> <tr> <td>吹付プラント設備</td> <td>(バッチ型・定置式) 25m³/h (一括練混ぜ)</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →24 機械損料数量→1.40 1.1</td> </tr> <tr> <td>吹付プラント設備</td> <td>(バッチ型・定置式) 25m³/h (分割練混ぜ)</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 →18 機械損料数量→1.40 1.1</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ(ベースマシン含む)</td> <td>トンネル工専用 排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧式1,300kg級 ベースマシン20t級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量 →60 機械損料数量→1.00</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>トンネル工専用オンロード型 10t積</td> <td>機-32</td> <td>燃料消費量 →70 タイヤの消耗費も計上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>配管式圧送能力55m³/h</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 →58 機械損料数量→1.40 1.1</td> </tr> <tr> <td>集 塵 機</td> <td>定格風量○○○m³/min級</td> <td>機-14</td> <td>燃料消費量 →必要分計上する</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	自由断面トンネル掘削機	最大掘削高6.0m 掘削幅6.4m カッターヘッド出力200～240kW	機-25	燃料消費量 →817 機械損料数量→ 1.40 1.1	ドリルジャンボ	トンネル工専用 ホイール式・排出ガス対策型(第1次基準値) 2ブーム・2バスケットドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 →267 機械損料数量→ 1.40 1.1	コンクリート吹付機	トンネル工専用 湿式吹付・R一体・C搭載・エレクトラ型・排出ガス対策型(第3次基準値)・吹付範囲半径7m級・吐油量6～22m ³ /h級	機-25	燃料消費量 →363 機械損料数量→ 1.40 1.1	ホイールローダ	トンネル専用機 サイドダンプ式・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積2.3m級	機-24	燃料消費量 →88 機械損料数量→ 1.40 1.1	バックホウ	トンネル工専用 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型・後方超小旋回型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-24	燃料消費量 →28 機械損料数量→ 1.40 1.1	吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (一括練混ぜ)	機-25	燃料消費量 →24 機械損料数量→ 1.40 1.1	吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (分割練混ぜ)	機-25	燃料消費量 →18 機械損料数量→ 1.40 1.1	大型ブレーカ(ベースマシン含む)	トンネル工専用 排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧式1,300kg級 ベースマシン20t級	機-12	燃料消費量 →60 機械損料数量→1.00	ダンプトラック	トンネル工専用オンロード型 10t積	機-32	燃料消費量 →70 タイヤの消耗費も計上	コンクリートポンプ車	配管式圧送能力55m ³ /h	機-24	燃料消費量 →58 機械損料数量→ 1.40 1.1	集 塵 機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 →必要分計上する	記載の変更
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																
自由断面トンネル掘削機	最大掘削高6.0m 掘削幅6.4m カッターヘッド出力200～240kW	機-25	燃料消費量 →817 機械損料数量→1.40																																																																																																
ドリルジャンボ	トンネル工専用 ホイール式・排出ガス対策型(第1次基準値) 2ブーム・2バスケットドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 →267 機械損料数量→1.40																																																																																																
コンクリート吹付機	トンネル工専用 湿式吹付・R一体・C搭載・エレクトラ型・排出ガス対策型(第3次基準値)・吹付範囲半径7m級・吐油量6～22m ³ /h級	機-25	燃料消費量 →363 機械損料数量→1.40																																																																																																
ホイールローダ	トンネル専用機 サイドダンプ式・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積2.3m級	機-24	燃料消費量 →88 機械損料数量→1.40																																																																																																
バックホウ	トンネル工専用 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型・後方超小旋回型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-24	燃料消費量 →28 機械損料数量→1.40																																																																																																
吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (一括練混ぜ)	機-25	燃料消費量 →24 機械損料数量→1.40																																																																																																
吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (分割練混ぜ)	機-25	燃料消費量 →18 機械損料数量→1.40																																																																																																
大型ブレーカ(ベースマシン含む)	トンネル工専用 排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧式1,300kg級 ベースマシン20t級	機-12	燃料消費量 →60 機械損料数量→1.00																																																																																																
ダンプトラック	トンネル工専用オンロード型 10t積	機-32	燃料消費量 →70 タイヤの消耗費も計上																																																																																																
コンクリートポンプ車	配管式圧送能力55m ³ /h	機-24	燃料消費量 →58 機械損料数量→1.40																																																																																																
集 塵 機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 →必要分計上する																																																																																																
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																
自由断面トンネル掘削機	最大掘削高6.0m 掘削幅6.4m カッターヘッド出力200～240kW	機-25	燃料消費量 →817 機械損料数量→ 1.40 1.1																																																																																																
ドリルジャンボ	トンネル工専用 ホイール式・排出ガス対策型(第1次基準値) 2ブーム・2バスケットドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 →267 機械損料数量→ 1.40 1.1																																																																																																
コンクリート吹付機	トンネル工専用 湿式吹付・R一体・C搭載・エレクトラ型・排出ガス対策型(第3次基準値)・吹付範囲半径7m級・吐油量6～22m ³ /h級	機-25	燃料消費量 →363 機械損料数量→ 1.40 1.1																																																																																																
ホイールローダ	トンネル専用機 サイドダンプ式・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積2.3m級	機-24	燃料消費量 →88 機械損料数量→ 1.40 1.1																																																																																																
バックホウ	トンネル工専用 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) クローラ型・後方超小旋回型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-24	燃料消費量 →28 機械損料数量→ 1.40 1.1																																																																																																
吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (一括練混ぜ)	機-25	燃料消費量 →24 機械損料数量→ 1.40 1.1																																																																																																
吹付プラント設備	(バッチ型・定置式) 25m ³ /h (分割練混ぜ)	機-25	燃料消費量 →18 機械損料数量→ 1.40 1.1																																																																																																
大型ブレーカ(ベースマシン含む)	トンネル工専用 排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧式1,300kg級 ベースマシン20t級	機-12	燃料消費量 →60 機械損料数量→1.00																																																																																																
ダンプトラック	トンネル工専用オンロード型 10t積	機-32	燃料消費量 →70 タイヤの消耗費も計上																																																																																																
コンクリートポンプ車	配管式圧送能力55m ³ /h	機-24	燃料消費量 →58 機械損料数量→ 1.40 1.1																																																																																																
集 塵 機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 →必要分計上する																																																																																																
IV-5-①-138																																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 2/6																																																																																																